

もくじ

第1部 加入者離職率の分析(本報告書第1部から抜粋)	8
Ⅰ. 離職率等調査の実施概要	9
Ⅱ. 離職率算出の主な方法とその留意点	10
Ⅲ. 離職率等(計算結果)	12
1. 県共済会 男女別×年齢層別集計結果	12
2. 県共済会 職種その1:男女別×年齢層別集計結果	19
3. 属性別離職率の概要	27
Ⅳ. 静共済加入者の離職率考察	30
1. 参考:厚生労働省「平成25年度雇用動向調査の概要」より抜粋紹介	30
2. 計算方法の違いによる離職率の誤差の程度を知る	31
3. 若年層の離職率は、算出の違いにより、なぜ大差が生じるのか?	32
4. 静共済加入者の離職率	33
5. 世間の同時期の年間離職率と比較して	33
6. 平成22年度(2010年度)～平成26年度(2014年度)の年間離職率の推移	34
7. 男女別年齢層別離職率	35
8. 職種別離職率	38
9. 法人規模別離職率	41
10. 地域別離職率	42
11. 離職率区分によるシェア等	43

第1部 加入者の離職率分析

(本報告書第1部から抜粋)

I. 離職率等調査の実施概要

1. 本調査の目的

静岡県社会福祉施設職員等退職手当共済加入者の離職率を分析することにより、会員法人の人材確保（職員の離職率低下）に役立つ情報を抽出すること。

2. 調査対象

静岡県社会福祉施設職員等退職手当共済（以下「静共済」という）の加入者データ。

注1：加入者数は約25,000人、加入者が勤務する施設数は約1,200施設。

注2：平成22（2010）年度～平成26（2014）年度の5年度分のデータを使用。

3. 調査事項

1) 静共済加入者データから算出した値

- ①在籍人数：（期初在籍人数－初日（4月1日）入職人数）＋期間入職人数
- ②退職人数
- ③入職人数
- ④再加入人数
- ⑤退職率：②退職人数／①在籍人数
- ⑥入職率：③入社人数／①在籍人数
- ⑦再加入率：④再加入人数／③入職人数

注1：ここでいう年度とは、4月1日～翌年3月31日

注2：②退職人数、③入職人数、④再加入人数は年度内の該当人数

2) 上記値を算出した年度

- ①平成22年度（2010年度）
- ②平成23年度（2011年度）
- ③平成24年度（2012年度）
- ④平成25年度（2013年度）
- ⑤平成26年度（2014年度）
- ⑥上記5年度の平均値（上記①～⑤の平均値）
- ⑦上記5年度の推移（上記①～⑤の推移）

3) 上記値を算出した属性

- ①性別×年齢層別
- ②職種×性別×年齢層
- ③法人従業員規模×性別×年齢層
- ④勤続年数×性別×年齢層
- ⑤施設種②×性別×年齢層
- ⑥施設種③×性別×年齢層
- ⑦施設種①×性別×年齢層
- ⑧地域（東中西）
- ⑨地域（静岡市、浜松市、その他）
- ⑩平成22年（2010年度）の離職率区分

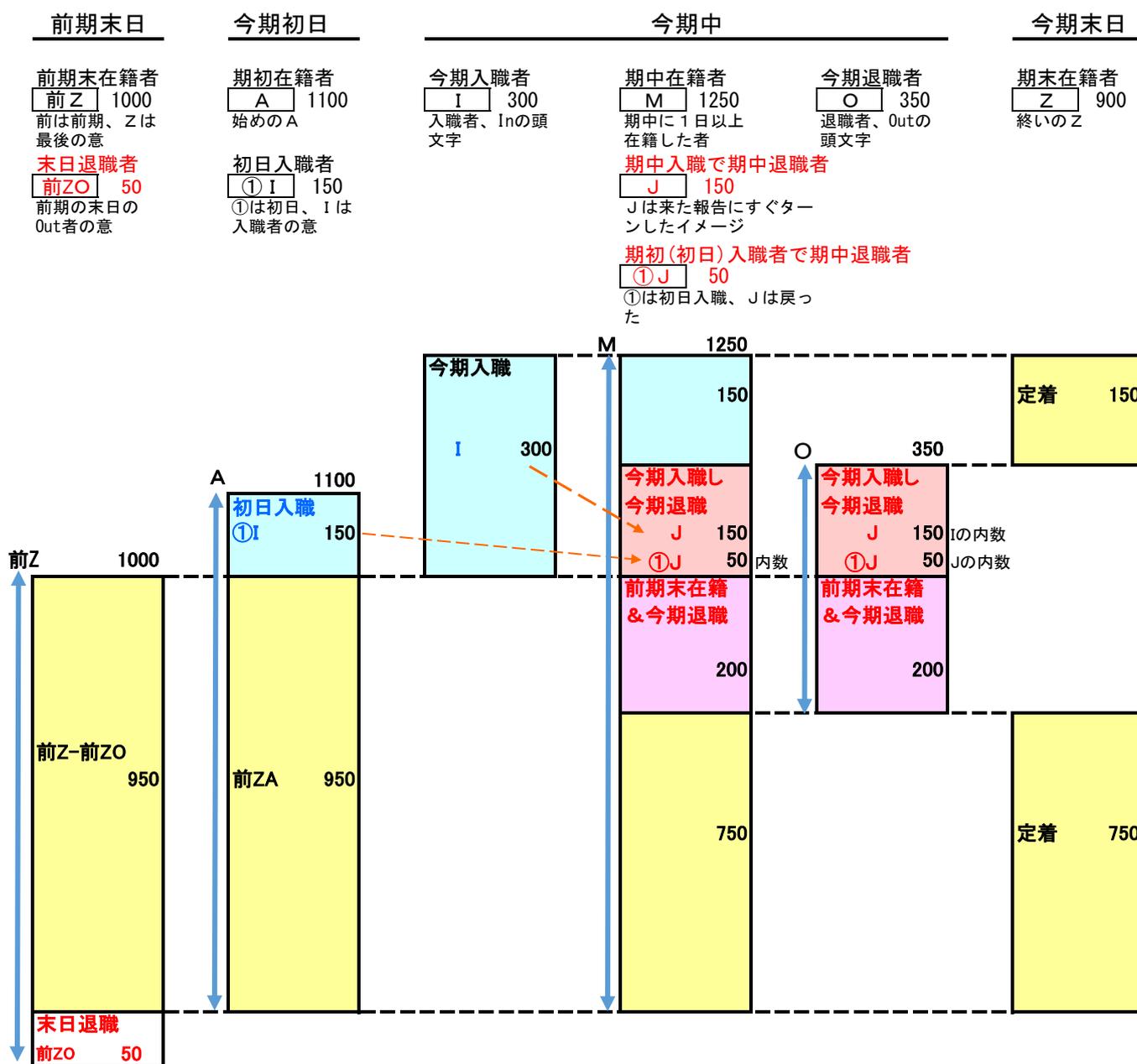
II. 離職率算出の主な方法とその留意点～調査結果ご利用に当たっての注意事項～

1. 離職率は様々な算式、異なる値がある

「離職率」とは、「在籍者数（分母）に対する離職者数（分子）の割合」と定義される。概念は単純であるが、公表されている離職率を調べてみると、実際には様々な算式が使われている。在籍者数、離職者数の数え方は複数ある。使用する算式が変われば離職率は異なった値となる。しかも、算式により、その値には大きな差が生じる。

離職率の算出に様々な算式が使われている理由は、第一に活用目的の違いがあるだろう。もうひとつ、大きな理由として、離職率算出に必要な統計値（データ）のうち、どの値が入手できるか、正確な統計値が得られるのはどれか？ それによるところが大きいと思われる。このことは、静共済加入者のデータから離職率を計算することで解ったことである。

離職率算出の考え方と必要な統計値（図解）



注：図中に示した値は、統計値の関係性を理解するのに役立つよう、具体例として単純な値を示したものである。

次頁に、離職率の主な算式を紹介し、図中の値を使って計算した離職率の値を載せている。

2. 離職率の主な算式とそれぞれの特徴

静共済加入法人をはじめ、本報告書利用者が自社の離職率を算出する場合、自社の離職率を本報告書や他の統計値と比較する場合など、離職率の計算方法は複数あること、計算方法が変われば離職率の値が異なることを知っておく必要がある。

離職率の概念からすれば、在籍者全員が算定期間に離職すれば、その離職率は100%になるはずである。一部の算式では、その通りとなるが、他の算式ではそうならない。100%を大きく超えてしまう算式もある。また、離職率の反意概念で「定着率」という言葉がある。言葉の意味からすれば、離職率の余数（1－離職率）が定着率となる。一部の算式では、その通りとなるが、他の算式ではそうならない。

以下に離職率算出の主な方法とそれぞれの特徴、留意すべき点を紹介する。

離職率計算の主な方法（算式）と特徴・留意点等

算式 no	算式 (考え方)	算式 (前頁図で)	前頁 値で	特徴・留意点
①	$\frac{\text{期初在籍者で期中に離職した者}}{\text{期初在籍者}}$	$\frac{O - J}{A - \textcircled{1}I}$ $\frac{O - J}{\text{前}ZA}$	18%	①最低は0%、最高は100%、余数は定着率となる。 ②離職率の概念・イメージにぴったり当てはまる計算方法の1つである。 ③他の算式に比べ、低い値が出やすい。 ④分子に特徴あり、必要な統計値取得が困難。
②	$\frac{\text{期中に離職した者}}{\text{期初在籍者}}$	$\frac{O}{A}$	32%	①最低は0%、最高は100%を超える（理論上）。 ②他の算式に比べ、高い値が出やすい。 ③必要な統計値が比較的得やすく、算式も単純。 ④厚労省の雇用動向調査はじめ、多くの統計でこの算式が使用されている。
③	$\frac{\text{期中に離職した者}}{\text{期中在籍者}}$	$\frac{O}{M}$ $\frac{O}{\text{前}ZA + I}$	28%	①最低は0%、最高は100%、余数は定着率となる。 ②離職率の概念・イメージにかなり当てはまる計算方法の1つである。 ③他の算式に比べ、低い値が出やすい。 ④必要な統計値取得がやや困難か（分母）。
④	$\frac{\text{期中に離職した者}}{\text{期末在籍者}}$	$\frac{O}{Z}$	39%	①最低は0%、最高は100%を超える（理論上）。 ②他の算式に比べ、高い値が出やすい。 ③必要な統計値が比較的得やすく、算式も単純。 ④算式は上記②に近い。
⑤	$\frac{\text{期中に離職した者}}{\text{期初在籍者と期末在籍者の平均}}$	$\frac{O}{(A + Z) / 2}$	35%	①最低は0%、最高は100%を超える（理論上）。 ②他の算式に比べ、高い値が出やすい。 ③必要な統計値が比較的得やすく、算式も単純。 ④算式は上記②と④の合成。

注1：離職率を算出する期間をどのように設定するかで離職率は変動する。

注2：仮に期間を1年とした場合でも、算式②④⑤では期初日をどの日に設定するかで大きく変動する場合がある。

算式①③では期間を1年とした場合、期初日をどの日に設定しても大きく変動することは少ない。

3. 本調査における離職率計算の考え方と算式について

本調査では、調査目的および調査に利用したデータ特性等を考慮し、離職率は上表の③によって算出した。ただし、世間相場との比較で誤差を小さくするため、あるいは誤差の程度を理解するため、一部については、使用した比較値の算式に最も近い②の方法でも算出した。

Ⅲ. 離職率等(計算結果)

1-1. 男女別×年齢層別集計結果(5年間の平均値)

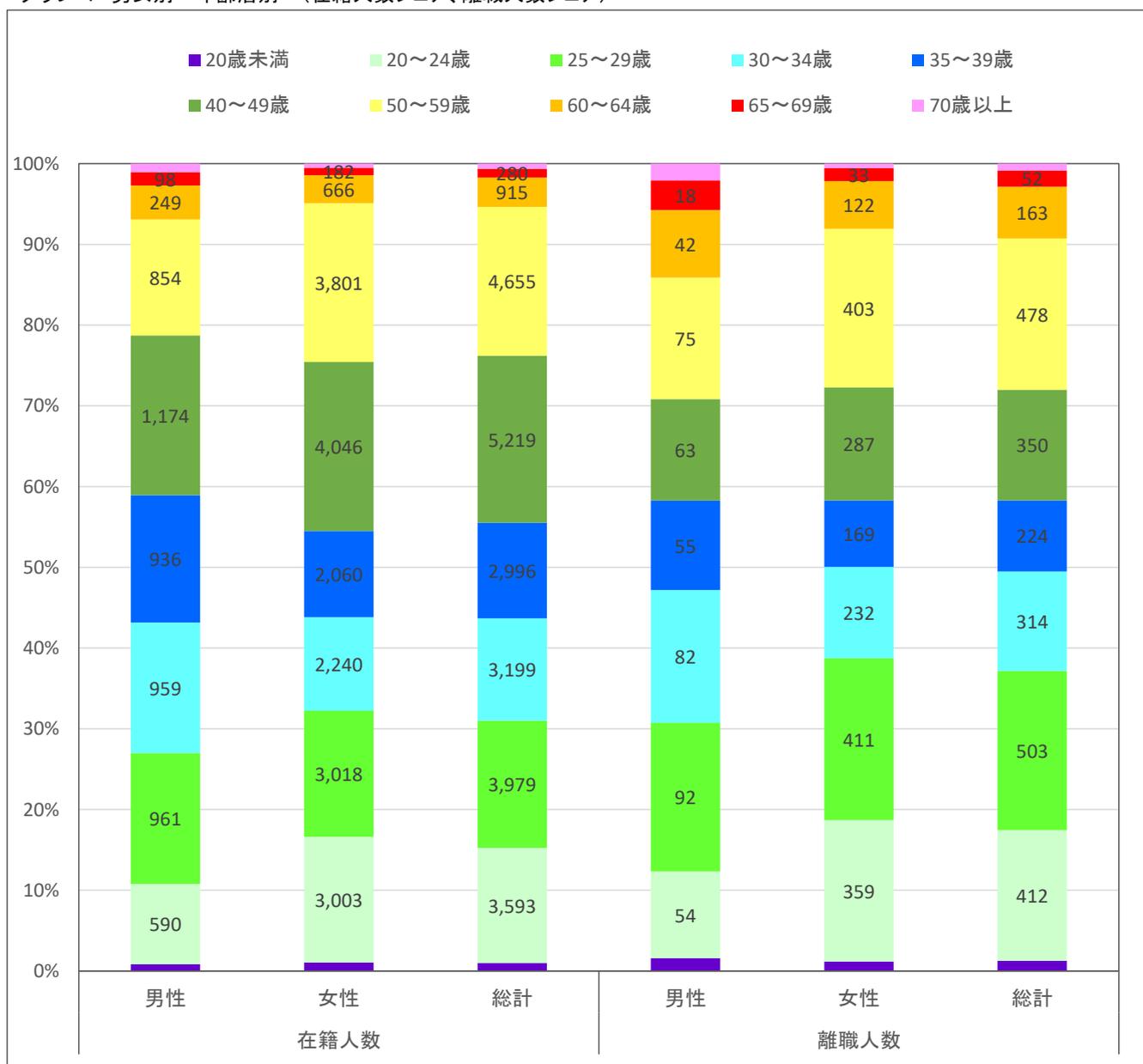
1) 在籍人数

2) 離職人数

(人)

		20歳未満	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	総計
在籍人数	男性	50	590	961	959	936	1,174	854	249	98	62	5,935
	女性	205	3,003	3,018	2,240	2,060	4,046	3,801	666	182	96	19,316
	総計	255	3,593	3,979	3,199	2,996	5,219	4,655	915	280	159	25,251
離職人数	男性	8	54	92	82	55	63	75	42	18	10	500
	女性	24	359	411	232	169	287	403	122	33	11	2,050
	総計	32	412	503	314	224	350	478	163	52	21	2,550

グラフ-1 男女別×年齢層別×(在籍人数シェア、離職人数シェア)



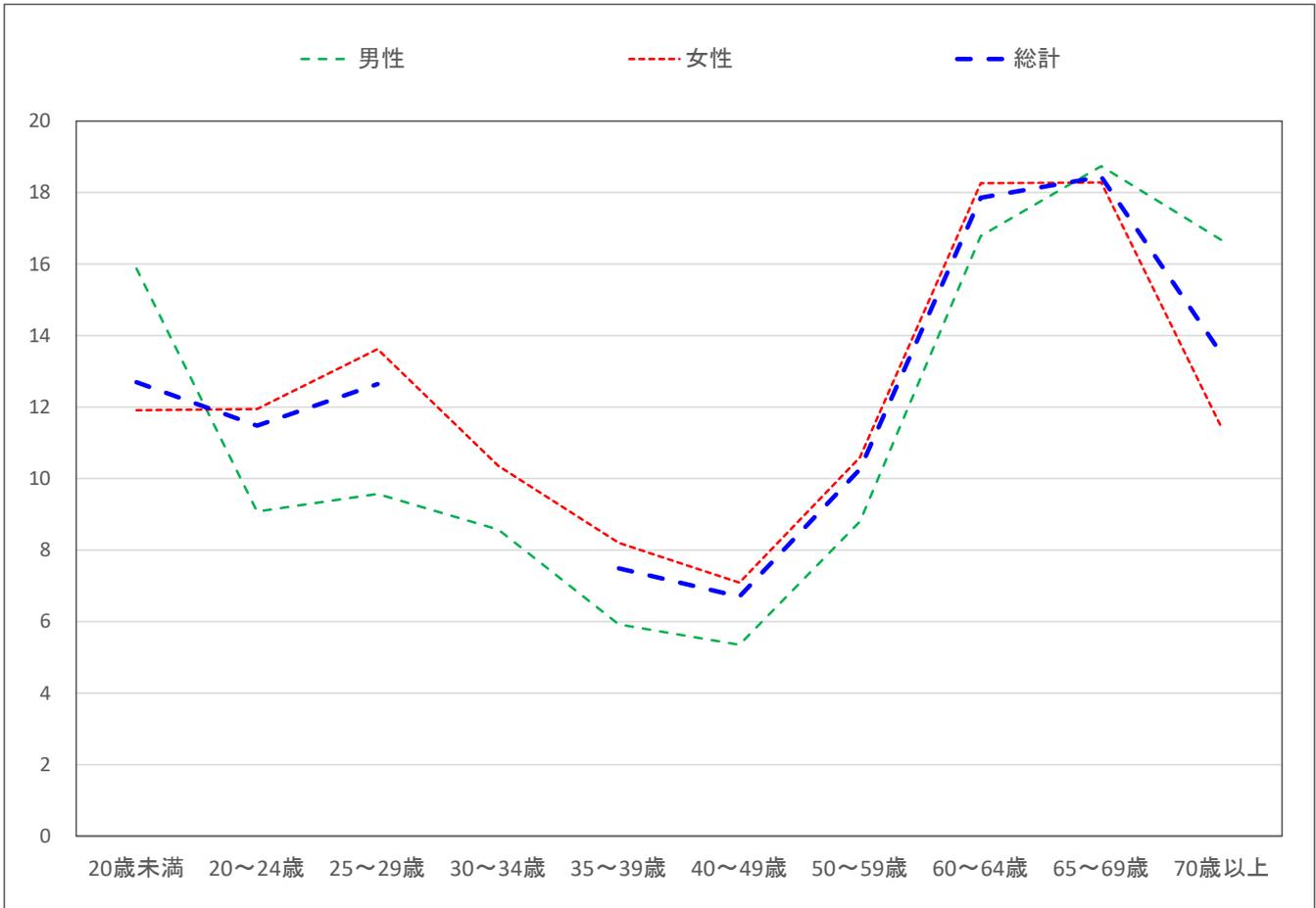
3) 離職率 (離職人数×100/在籍人数)

(%)

	20歳未満	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	総計
男性	15.9	9.1	9.6	8.6	5.9	5.4	8.8	16.8	18.7	16.7	8.4
女性	11.9	11.9	13.6	10.4	8.2	7.1	10.6	18.3	18.3	11.4	10.6
総計	12.7	11.5	12.6		7.5	6.7	10.3	17.9	18.4	13.5	10.1

グラフ-2 男女別×年齢層別離職率

(%)



4) 入職人数

(人)

	20歳未満	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	総計
男性	32	204	125	89	70	79	68	37	7	2	713
女性	122	841	249	202	225	439	262	78	14	4	2,436
総計	154	1,045	374	290	294	518	330	115	21	7	3,149

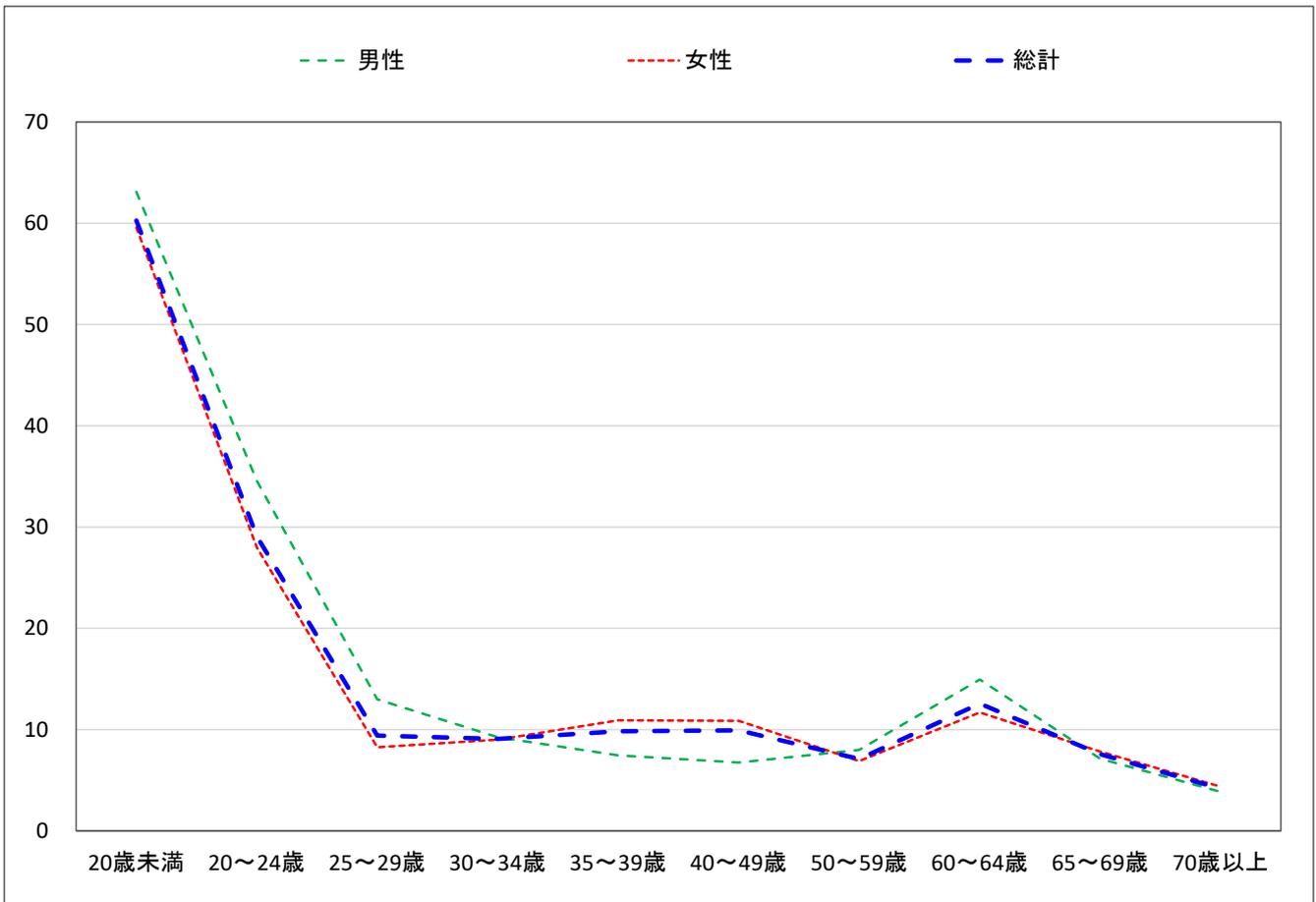
5) 入職率 (入職人数×100/在籍人数)

(%)

	20歳未満	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	総計
男性	63.1	34.6	13.0	9.2	7.5	6.7	8.0	14.9	7.1	3.8	12.0
女性	59.6	28.0	8.3	9.0	10.9	10.9	6.9	11.7	7.8	4.4	12.6
総計	60.3	29.1	9.4	9.1	9.8	9.9	7.1	12.6	7.6	4.2	12.5

グラフ-3 男女別×年齢層別入職率

(%)



6) 再加入人数(会員法人内での転職)

(人)

	20歳未満	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	総計
男性	0.0	0.6	1.8	2.6	2.6	1.6	1.6	0.2	0.0	0.0	11.0
女性	0.0	3.2	3.8	3.6	2.4	4.2	3.4	0.0	0.0	0.0	20.6
総計	0.0	3.8	5.6	6.2	5.0	5.8	5.0	0.2	0.0	0.0	31.6

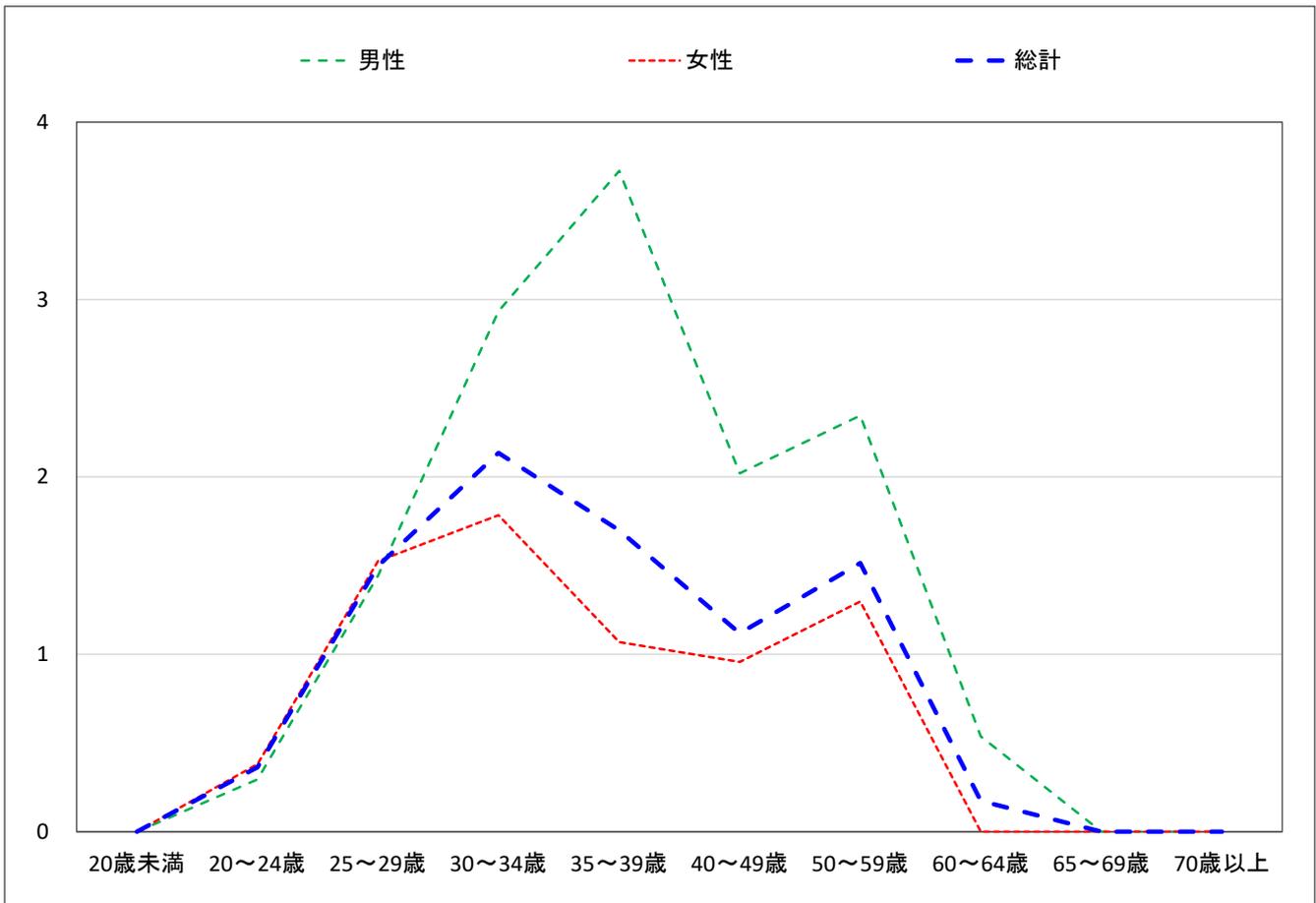
7) 入職者の再加入率 (再加入人数/同期間中の入職人数)

(%)

	20歳未満	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	総計
男性	0.0	0.3	1.4	2.9	3.7	2.0	2.3	0.5	0.0	0.0	1.5
女性	0.0	0.4	1.5	1.8	1.1	1.0	1.3	0.0	0.0	0.0	0.8
総計	0.0	0.4	1.5	2.1	1.7	1.1	1.5	0.2	0.0	0.0	1.0

グラフ-4 男女別×年齢層別再加入率

(%)



1-2. 男女別×年度別集計結果(5年間の推移)

1) 在籍人数

(人)

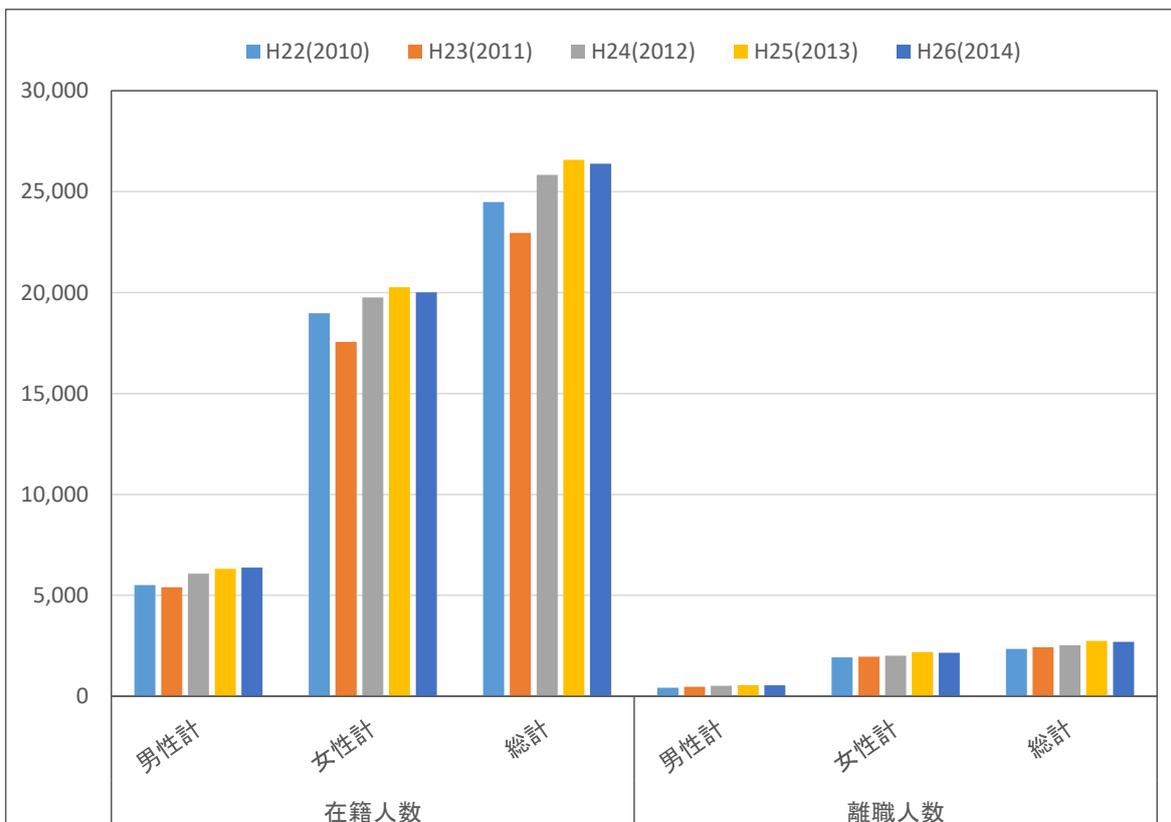
		H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)	5年平均
在籍人数	男性計	5,512	5,400	6,074	6,316	6,371	5,935
	女性計	18,979	17,557	19,762	20,265	20,017	19,316
	総計	24,491	22,957	25,836	26,581	26,388	25,251

2) 離職人数

(人)

		H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)	5年平均
離職人数	男性計	418	468	523	552	538	500
	女性計	1,931	1,964	2,009	2,187	2,161	2,050
	総計	2,349	2,432	2,532	2,739	2,699	2,550

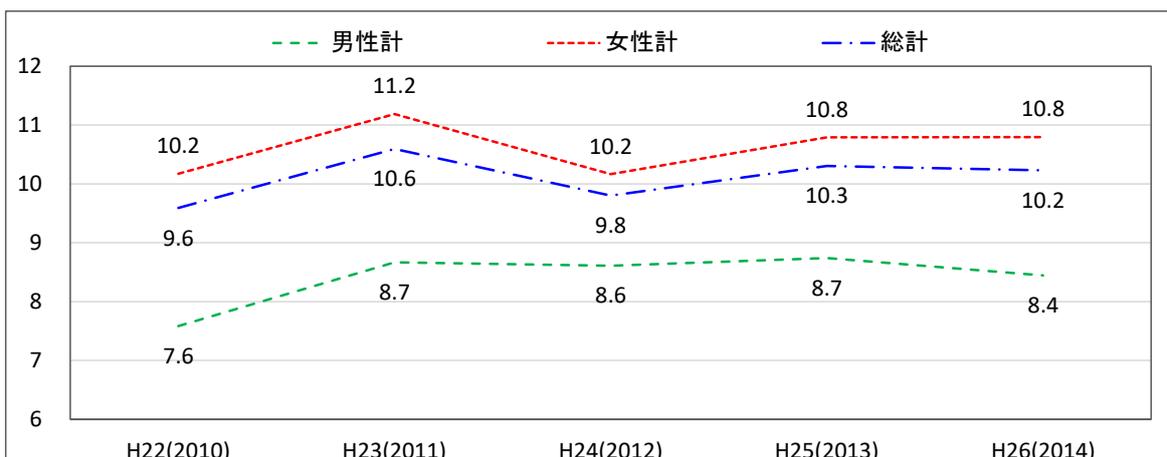
グラフ1の1 男女別×年度別 在籍人数と離職人数



3) 離職率 (離職人数 × 100 / 在籍人数) (%)

	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)	5年平均
男性計	7.6	8.7	8.6	8.7	8.4	8.4
女性計	10.2	11.2	10.2	10.8	10.8	10.6
総計	9.6	10.6	9.8	10.3	10.2	10.1

グラフ1の2 男女別 × 年度別離職率 (%)目盛に注意



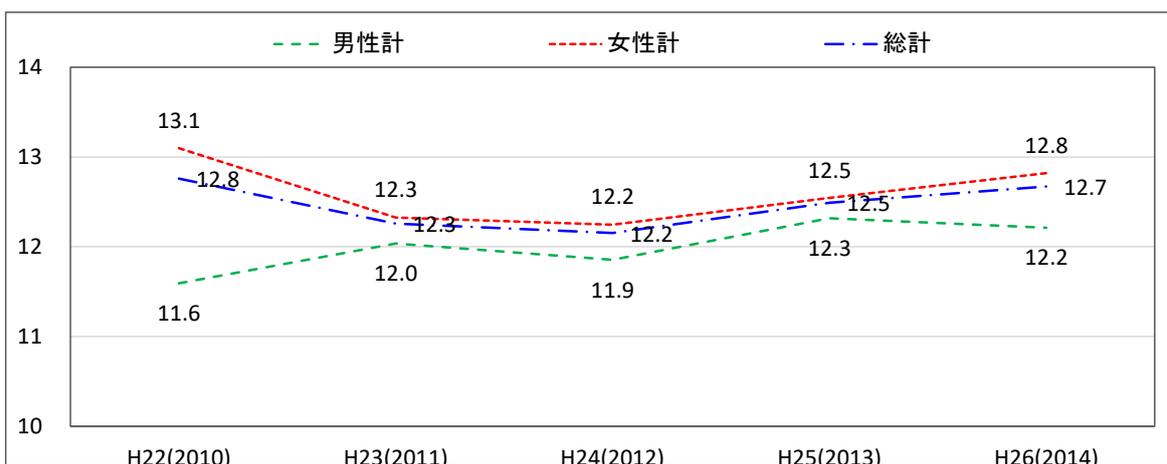
4) 入職人数 (人)

	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)	5年平均
男性計	639	650	720	778	778	713
女性計	2,486	2,164	2,420	2,542	2,566	2,436
総計	3,125	2,814	3,140	3,320	3,344	3,149

5) 入職率 (入職人数 × 100 / 在籍人数) (%)

	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)	5年平均
男性計	11.6	12.0	11.9	12.3	12.2	12.0
女性計	13.1	12.3	12.2	12.5	12.8	12.6
総計	12.8	12.3	12.2	12.5	12.7	12.5

グラフ1の3 男女別 × 年度別入職率 (%)目盛に注意



6) 再加入人数(会員法人内での転職)

(人)

	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)	5年平均
男性計	8	6	15	14	12	11
女性計	17	15	17	23	31	21
総計	25	21	32	37	43	32

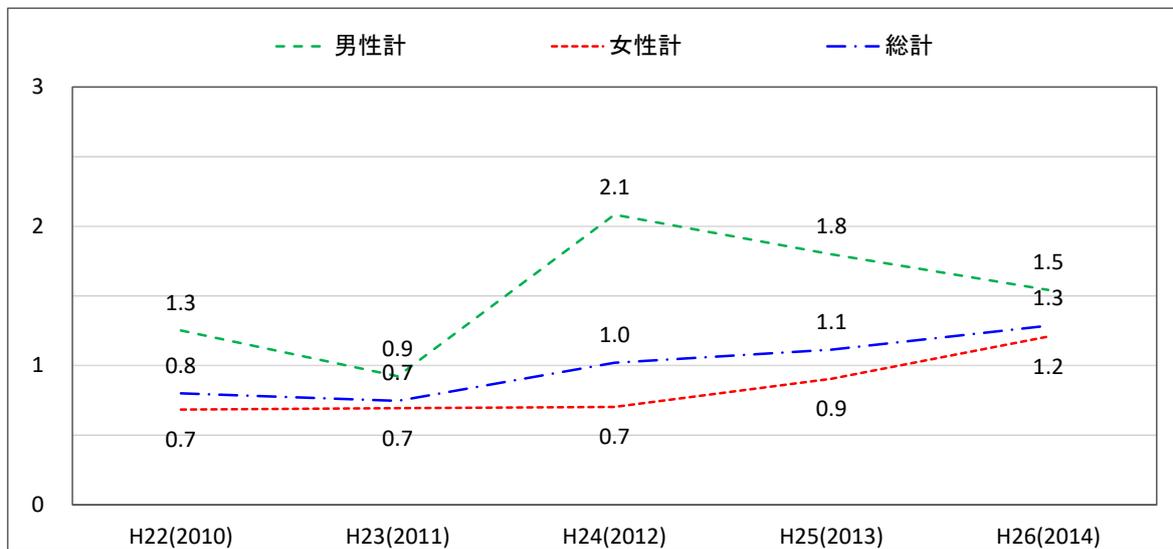
7) 入職者の再加入率 (再加入人数/同期間中の入職人数)

(%)

	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)	5年平均
男性計	1.3	0.9	2.1	1.8	1.5	1.5
女性計	0.7	0.7	0.7	0.9	1.2	0.8
総計	0.8	0.7	1.0	1.1	1.3	1.0

グラフ1の4 男女別×年度別再加入率

(%)目盛に注意



2-1. 職種その1:男女別×年齢層別 集計結果(5年間の平均値)

1)在籍人数

(人数)

		20歳未満	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	総計
男性	02)指導員	2	87	185	211	238	272	177	51	13	9	1,245
	03)保育士	1	52	55	28	20	9	3	1	0	0	168
	04)介護職員	37	303	398	400	327	302	159	32	11	3	1,972
	10)事務員	4	36	79	85	116	179	138	41	16	9	702
女性	02)指導員	6	201	244	197	173	321	265	52	14	3	1,475
	03)保育士	6	1,255	866	527	438	818	695	76	16	8	4,704
	04)介護職員	151	743	777	571	541	1,083	1,125	208	52	19	5,271
	10)事務員	17	111	159	163	184	340	224	32	6	3	1,239
総計	02)指導員	8	288	429	408	411	593	442	103	27	11	2,720
	03)保育士	7	1,307	921	554	458	827	699	76	16	8	4,872
	04)介護職員	188	1,046	1,175	971	868	1,386	1,284	239	63	22	7,242
	10)事務員	20	147	238	248	300	518	362	73	22	12	1,941

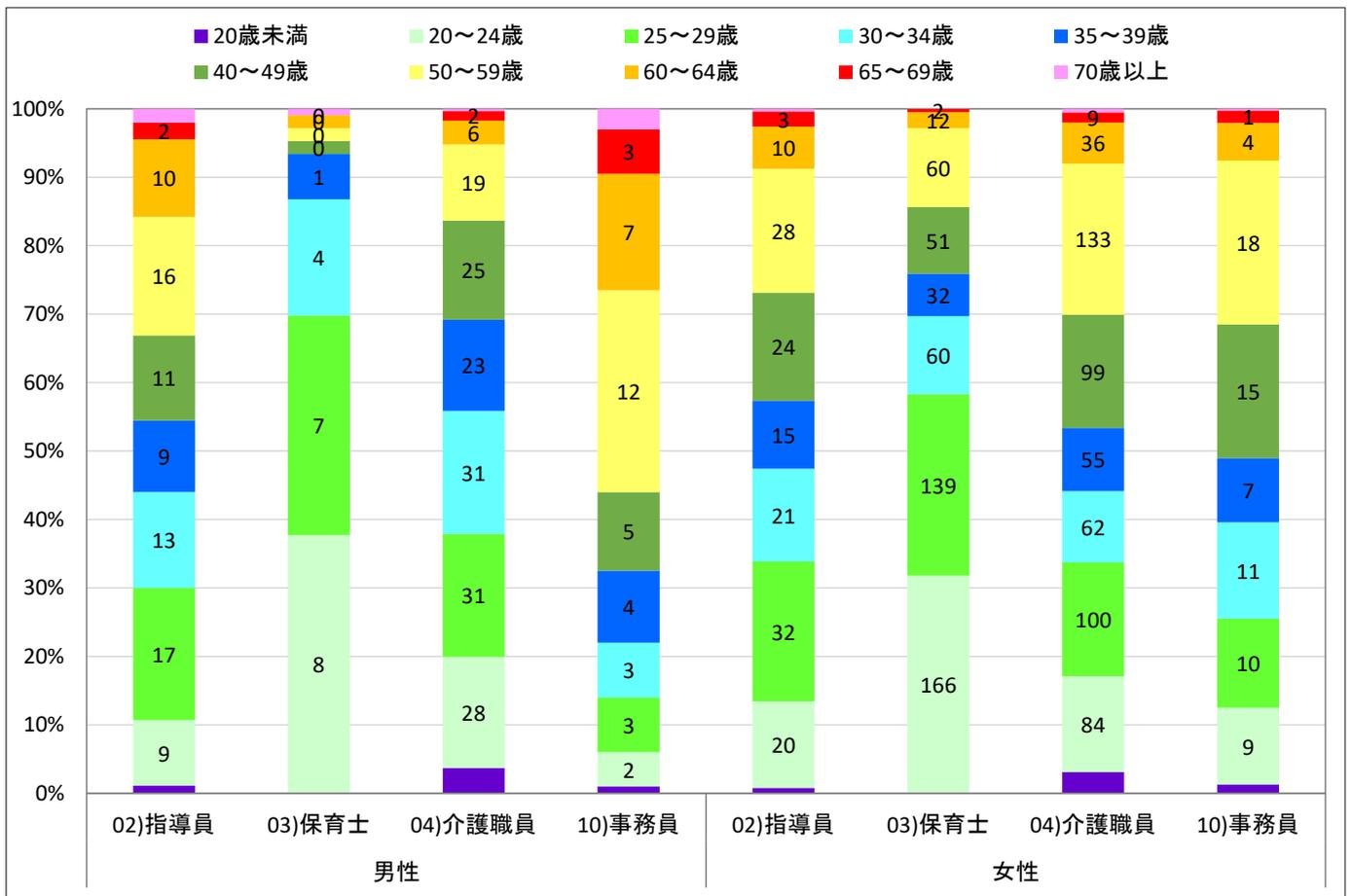
2)離職人数

(人数)

		20歳未満	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	総計
男性	02)指導員	1	9	17	13	9	11	16	10	2	2	90
	03)保育士	0	8	7	4	1	0	0	0	0	0	21
	04)介護職員	6	28	31	31	23	25	19	6	2	1	173
	10)事務員	0	2	3	3	4	5	12	7	3	1	40
女性	02)指導員	1	20	32	21	15	24	28	10	3	1	155
	03)保育士	0	166	139	60	32	51	60	12	2	0	522
	04)介護職員	18	84	100	62	55	99	133	36	9	3	600
	10)事務員	1	9	10	11	7	15	18	4	1	0	77
総計	02)指導員	2	28	49	34	25	36	44	20	6	2	245
	03)保育士	0	174	145	63	34	51	61	13	2	0	544
	04)介護職員	25	112	131	93	78	124	152	42	11	4	773
	10)事務員	1	11	13	14	11	20	30	11	4	1	117

グラフ2-1の1:職種その1:男女別×年齢層別

(数字:人数)



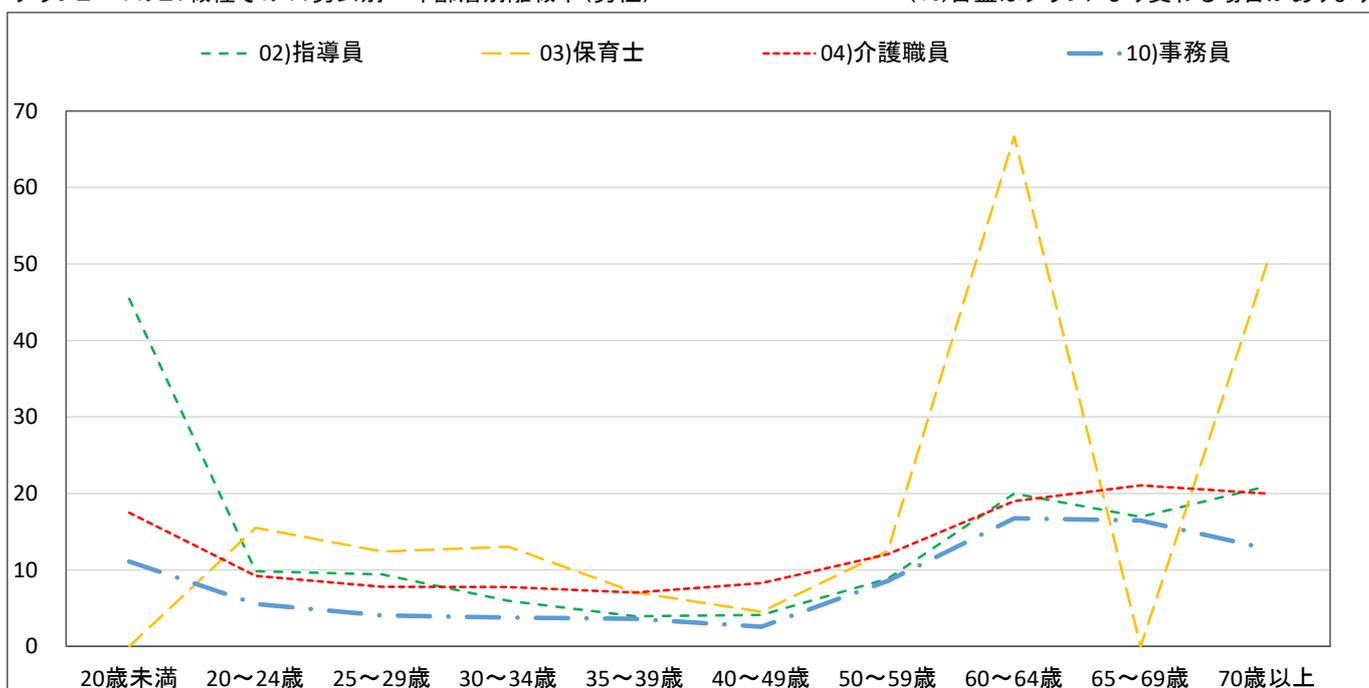
3) 離職率 (離職人数×100/在籍人数)

(%)

		20歳未満	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	総計
男性	02)指導員	45.5	9.8	9.4	6.0	3.9	4.1	8.8	20.0	16.9	20.9	7.2
	03)保育士	0.0	15.5	12.4	13.0	7.1	4.5	12.5	66.7	#DIV/0!	50.0	12.6
	04)介護職員	17.5	9.2	7.8	7.8	7.0	8.3	12.0	19.0	21.1	20.0	8.8
	10)事務員	11.1	5.6	4.1	3.8	3.6	2.6	8.6	16.7	16.5	12.8	5.7
女性	02)指導員	20.0	9.8	12.9	10.7	8.9	7.6	10.6	18.4	24.6	23.1	10.5
	03)保育士	3.3	13.2	16.0	11.3	7.4	6.2	8.7	16.1	15.4	2.6	11.1
	04)介護職員	12.2	11.3	12.8	10.9	10.2	9.2	11.8	17.3	16.9	16.5	11.4
	10)事務員	6.0	7.7	6.3	6.6	3.9	4.4	8.2	13.0	24.1	7.7	6.2
総計	02)指導員	26.8	9.8	11.4	8.2	6.0	6.0	9.9	19.2	20.9	21.4	9.0
	03)保育士	2.9	13.3	15.8	11.4	7.4	6.2	8.7	16.5	15.4	4.9	11.2
	04)介護職員	13.2	10.7	11.1	9.6	9.0	9.0	11.8	17.5	17.7	17.0	10.7
	10)事務員	6.9	7.2	5.5	5.6	3.8	3.8	8.3	15.1	18.5	11.7	6.0

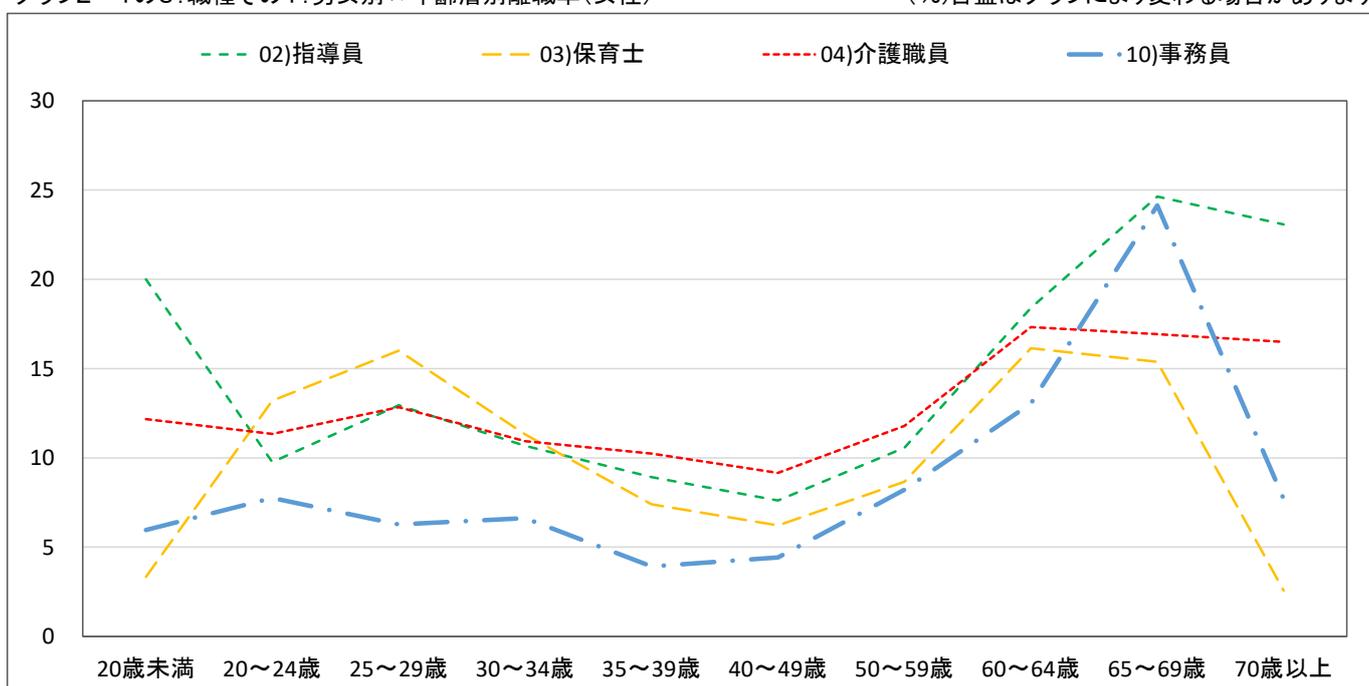
グラフ2-1の2: 職種その1: 男女別×年齢層別離職率(男性)

(%)目盛はグラフにより変わる場合があります



グラフ2-1の3: 職種その1: 男女別×年齢層別離職率(女性)

(%)目盛はグラフにより変わる場合があります



4)入職人数

(人)

		20歳未満	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	総計
男性	02)指導員	2	34	21	13	15	17	18	8	2	0	129
	03)保育士	1	21	5	3	1	1	0	0	0	0	32
	04)介護職員	24	92	47	37	29	38	23	6	1	0	298
	10)事務員	2	12	9	7	4	5	6	6	1	0	52
女性	02)指導員	4	65	17	17	18	44	26	11	2	0	204
	03)保育士	6	351	60	48	47	80	40	9	0	1	642
	04)介護職員	84	162	59	54	72	144	92	22	3	0	693
	10)事務員	12	20	17	15	17	28	9	3	1	0	121
総計	02)指導員	6	99	38	30	33	60	44	19	3	0	333
	03)保育士	7	372	65	52	49	80	40	9	0	1	674
	04)介護職員	108	254	106	92	101	182	115	28	4	1	990
	10)事務員	14	31	26	22	20	33	15	9	2	0	173

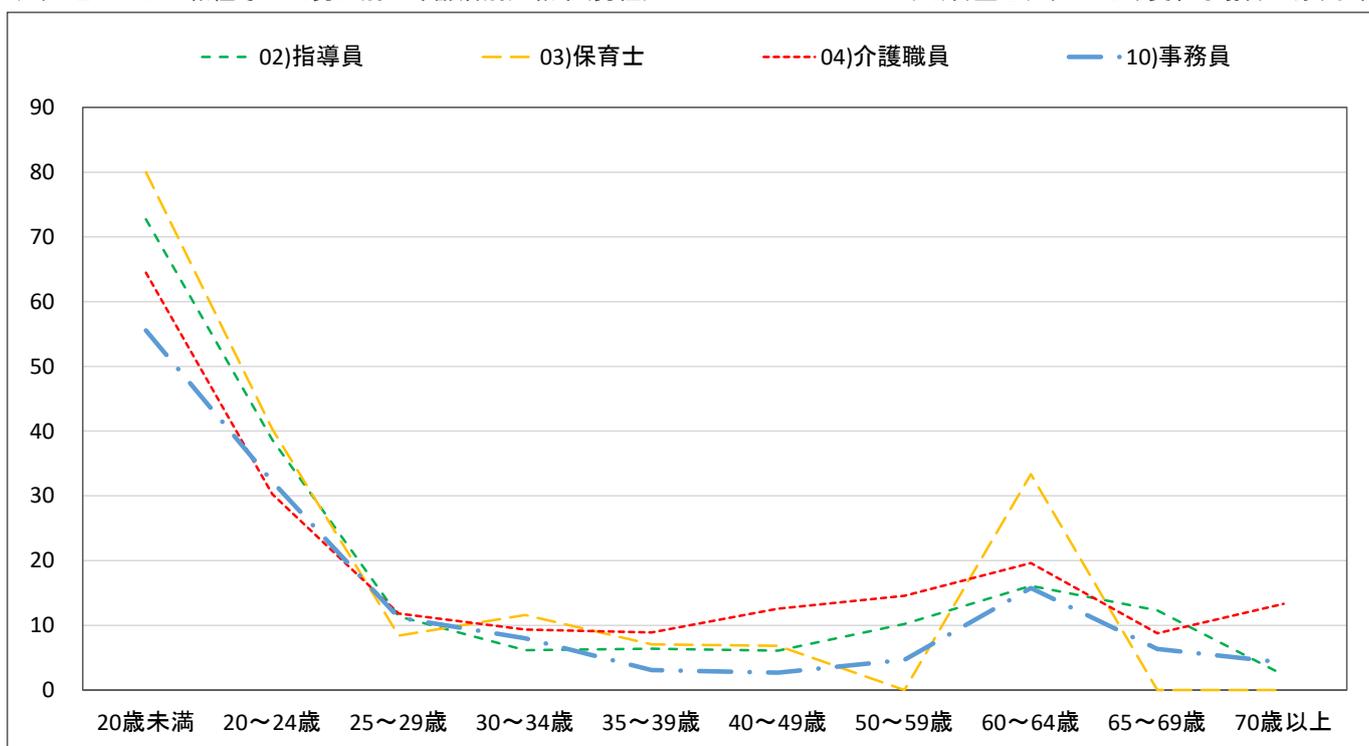
5)入職率 (入職人数×100/在籍人数)

(%)

		20歳未満	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	総計
男性	02)指導員	72.7	38.7	11.4	6.2	6.4	6.1	10.2	16.1	12.3	2.3	10.4
	03)保育士	80.0	40.3	8.4	11.6	7.1	6.8	0.0	33.3	#DIV/0!	0.0	18.8
	04)介護職員	64.5	30.3	11.8	9.4	8.9	12.6	14.6	19.6	8.8	13.3	15.1
	10)事務員	55.6	32.2	11.2	8.0	3.1	2.7	4.7	15.8	6.3	4.3	7.4
女性	02)指導員	66.7	32.6	7.1	8.7	10.5	13.6	9.7	20.7	13.0	0.0	13.8
	03)保育士	96.7	27.9	7.0	9.2	10.8	9.7	5.7	11.4	2.6	17.9	13.7
	04)介護職員	55.7	21.8	7.6	9.5	13.4	13.3	8.2	10.5	5.4	2.1	13.1
	10)事務員	71.4	17.7	10.5	9.1	9.0	8.4	4.0	9.3	13.8	0.0	9.8
総計	02)指導員	68.3	34.4	9.0	7.4	8.1	10.2	9.9	18.4	12.7	1.8	12.3
	03)保育士	94.3	28.4	7.1	9.3	10.6	9.7	5.7	11.5	2.6	17.1	13.8
	04)介護職員	57.4	24.3	9.0	9.5	11.7	13.1	9.0	11.7	6.0	3.6	13.7
	10)事務員	68.6	21.2	10.7	8.7	6.7	6.4	4.3	12.9	8.3	3.3	8.9

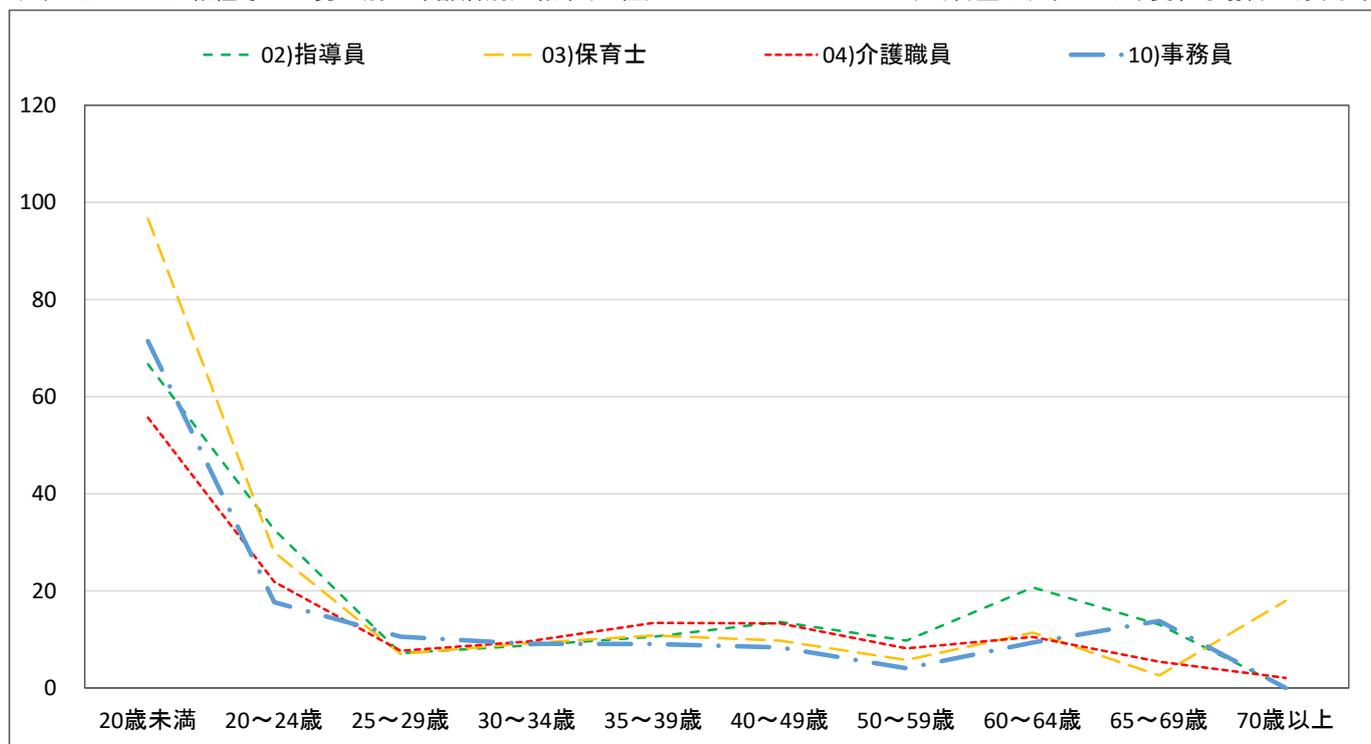
グラフ2-1の4:職種その1:男女別×年齢層別入職率(男性)

(%)目盛はグラフにより変わる場合があります



グラフ2-1の5:職種その1:男女別×年齢層別入職率(女性)

(%)目盛はグラフにより変わる場合があります



6)再加入人数(会員法人内での転職)

(人)

		20歳未満	20~24歳	25~29歳	30~34歳	35~39歳	40~49歳	50~59歳	60~64歳	65~69歳	70歳以上	総計
男性	02)指導員	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	3
	03)保育士	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	04)介護職員	0	0	1	1	2	1	1	0	0	0	5
	10)事務員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
女性	02)指導員	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	3
	03)保育士	0	1	2	1	1	1	1	0	0	0	6
	04)介護職員	0	1	1	1	1	1	1	0	0	0	6
	10)事務員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総計	02)指導員	0	0	1	2	1	1	0	0	0	0	6
	03)保育士	0	1	2	1	1	1	1	0	0	0	6
	04)介護職員	0	1	2	2	2	2	2	0	0	0	11
	10)事務員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1

7)入職者の再加入率(再加入人数/同期間中に入職人数)

(%)

		20歳未満	20~24歳	25~29歳	30~34歳	35~39歳	40~49歳	50~59歳	60~64歳	65~69歳	70歳以上	総計
男性	02)指導員	0.0	0.6	3.8	6.2	3.9	3.6	1.1	0.0	0.0	0.0	2.5
	03)保育士	0.0	0.0	4.3	6.3	0.0	0.0	#DIV/0!	0.0	#DIV/0!	#DIV/0!	1.3
	04)介護職員	0.0	0.4	1.7	2.7	5.5	1.6	3.4	0.0	0.0	0.0	1.7
	10)事務員	0.0	0.0	0.0	2.9	5.6	0.0	3.1	0.0	0.0	0.0	1.2
女性	02)指導員	0.0	0.3	2.3	5.8	1.1	1.4	0.8	0.0	0.0	#DIV/0!	1.3
	03)保育士	0.0	0.4	2.6	1.7	1.7	0.8	2.0	0.0	0.0	0.0	0.9
	04)介護職員	0.0	0.6	1.7	1.5	0.8	1.0	1.1	0.0	0.0	0.0	0.8
	10)事務員	0.0	0.0	0.0	0.0	1.2	0.7	0.0	0.0	0.0	#DIV/0!	0.3
総計	02)指導員	0.0	0.4	3.1	6.0	2.4	2.0	0.9	0.0	0.0	0.0	1.7
	03)保育士	0.0	0.4	2.8	1.9	1.6	0.7	2.0	0.0	0.0	0.0	0.9
	04)介護職員	0.0	0.6	1.7	2.0	2.2	1.1	1.6	0.0	0.0	0.0	1.1
	10)事務員	0.0	0.0	0.0	0.9	2.0	0.6	1.3	0.0	0.0	0.0	0.6

2-2. 職種その1:男女別×年度別 集計結果(5年間の推移)

1)在籍人数

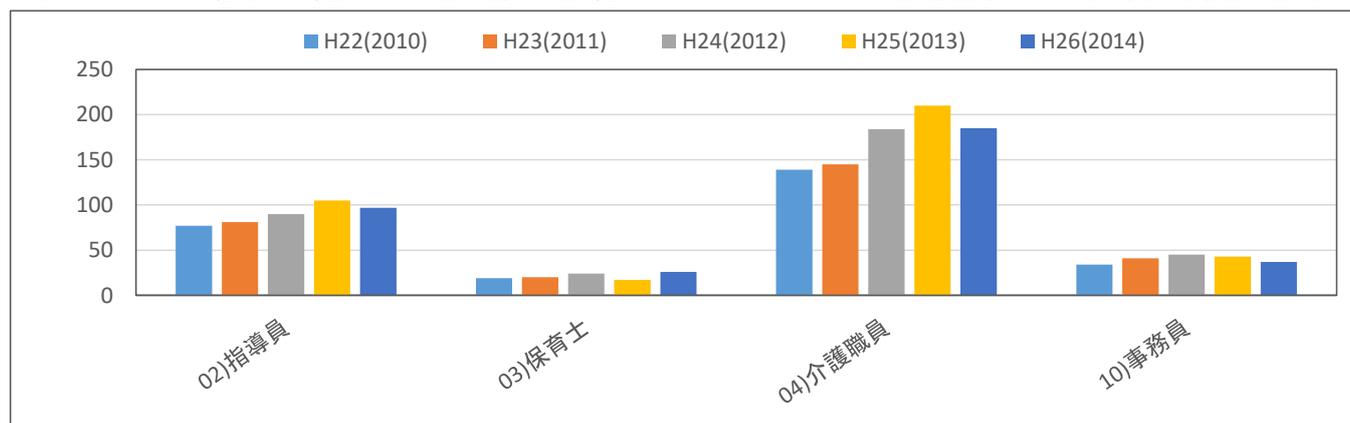
							(人数)
		H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)	5年平均
男性	02)指導員	1,183	1,155	1,272	1,314	1,301	1,245
	03)保育士	156	141	167	176	199	168
	04)介護職員	1,734	1,720	2,023	2,168	2,213	1,972
	10)事務員	672	679	724	719	716	702
女性	02)指導員	1,396	1,315	1,500	1,570	1,592	1,475
	03)保育士	4,520	4,222	4,829	4,924	5,027	4,704
	04)介護職員	5,201	4,800	5,417	5,573	5,362	5,271
	10)事務員	1,170	1,170	1,253	1,298	1,302	1,239
総計	02)指導員	2,579	2,470	2,772	2,884	2,893	2,720
	03)保育士	4,676	4,363	4,996	5,100	5,226	4,872
	04)介護職員	6,935	6,520	7,440	7,741	7,575	7,242
	10)事務員	1,842	1,849	1,977	2,017	2,018	1,941

2)離職人数

							(人数)
		H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)	5年平均
男性	02)指導員	77	81	90	105	97	90
	03)保育士	19	20	24	17	26	21
	04)介護職員	139	145	184	210	185	173
	10)事務員	34	41	45	43	37	40
女性	02)指導員	148	142	156	165	163	155
	03)保育士	478	486	545	564	539	522
	04)介護職員	535	601	562	637	665	600
	10)事務員	67	73	65	91	88	77
総計	02)指導員	225	223	246	270	260	245
	03)保育士	497	506	569	581	565	544
	04)介護職員	674	746	746	847	850	773
	10)事務員	101	114	110	134	125	117

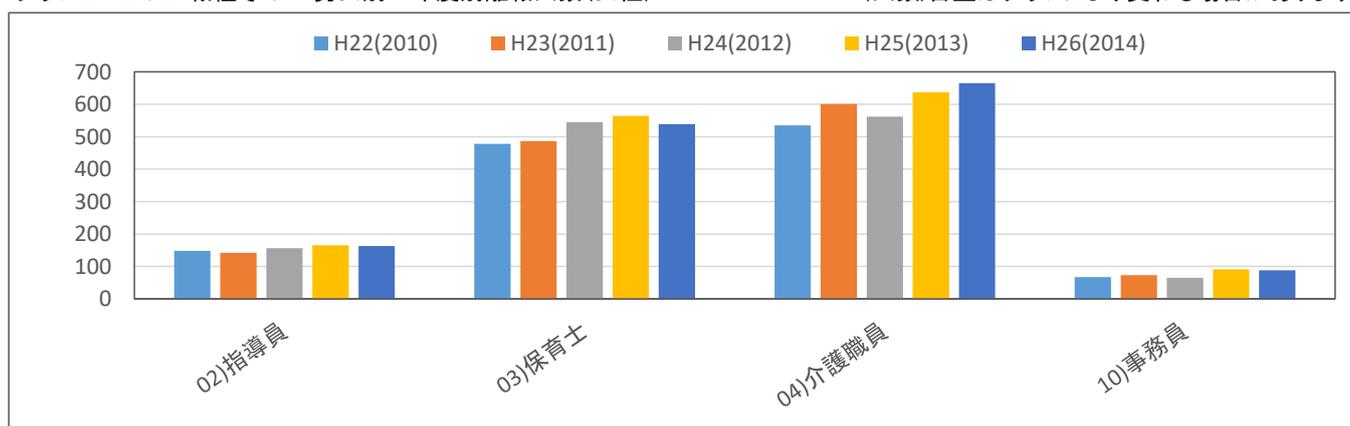
グラフ2-2の1:職種その1:男女別×年度別離職人数(男性)

(人数)目盛はグラフにより変わる場合があります



グラフ2-2の2:職種その1:男女別×年度別離職人数(女性)

(人数)目盛はグラフにより変わる場合があります



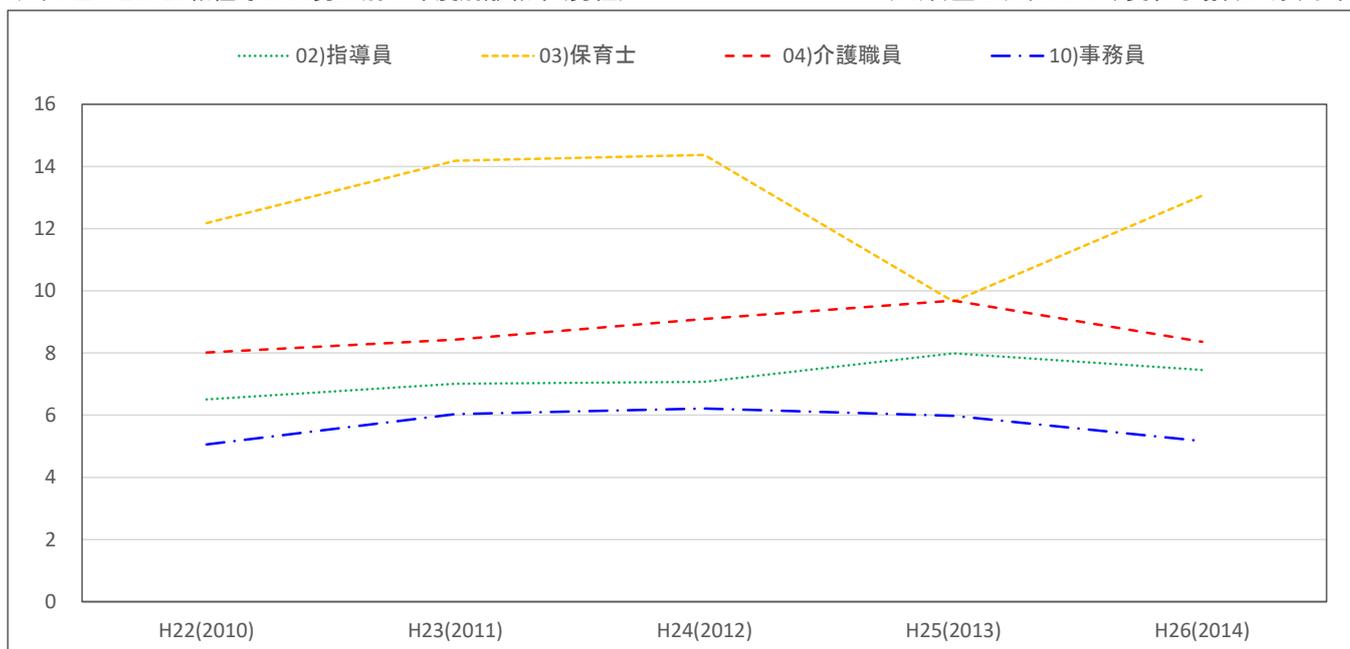
3) 離職率 (離職人数 × 100 / 在籍人数)

(%)

		H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)	5年平均
男性	02)指導員	6.5	7.0	7.1	8.0	7.5	7.2
	03)保育士	12.2	14.2	14.4	9.7	13.1	12.6
	04)介護職員	8.0	8.4	9.1	9.7	8.4	8.8
	10)事務員	5.1	6.0	6.2	6.0	5.2	5.7
女性	02)指導員	10.6	10.8	10.4	10.5	10.2	10.5
	03)保育士	10.6	11.5	11.3	11.5	10.7	11.1
	04)介護職員	10.3	12.5	10.4	11.4	12.4	11.4
	10)事務員	5.7	6.2	5.2	7.0	6.8	6.2
総計	02)指導員	8.7	9.0	8.9	9.4	9.0	9.0
	03)保育士	10.6	11.6	11.4	11.4	10.8	11.2
	04)介護職員	9.7	11.4	10.0	10.9	11.2	10.7
	10)事務員	5.5	6.2	5.6	6.6	6.2	6.0

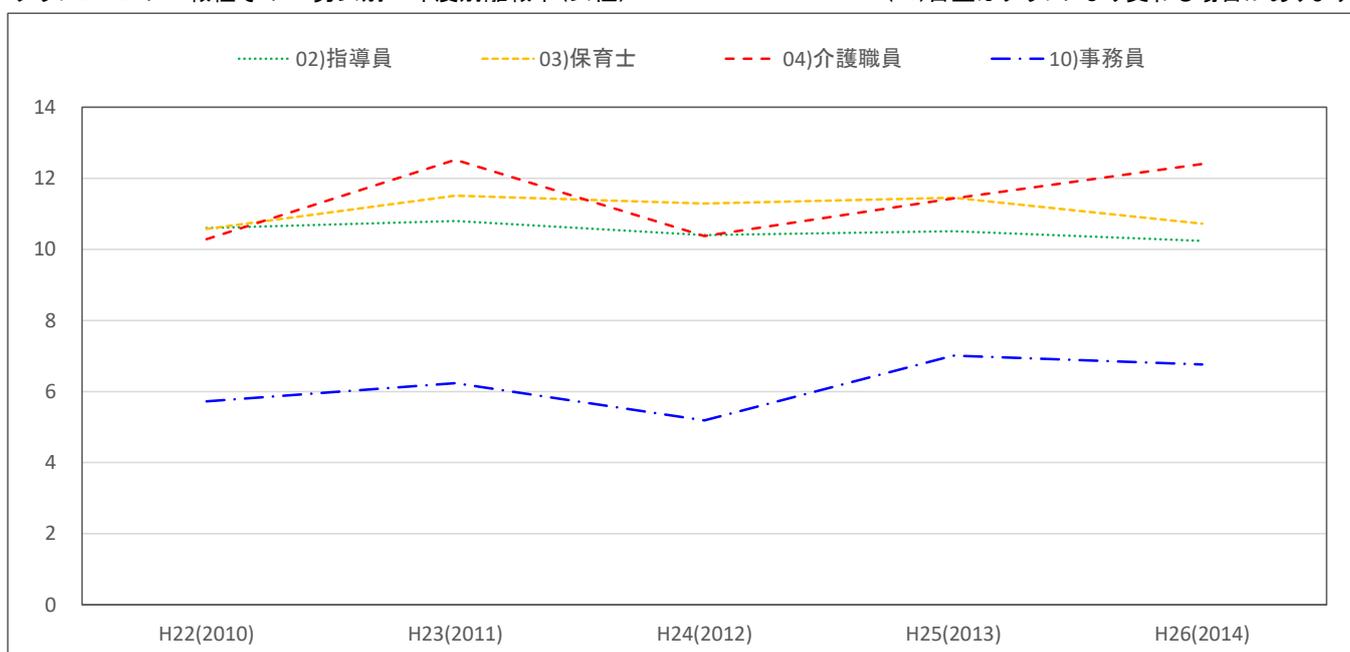
グラフ2-2の3: 職種その1: 男女別 × 年度別離職率 (男性)

(%)目盛はグラフにより変わる場合があります



グラフ2-2の4: 職種その1: 男女別 × 年度別離職率 (女性)

(%)目盛はグラフにより変わる場合があります



4)入職人数

(人)

		H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)	5年平均
男性	02)指導員	143	109	131	140	123	129
	03)保育士	28	25	26	33	46	32
	04)介護職員	236	279	308	339	326	298
	10)事務員	45	70	46	43	55	52
女性	02)指導員	196	174	190	230	231	204
	03)保育士	616	588	623	643	742	642
	04)介護職員	701	635	733	737	658	693
	10)事務員	136	131	97	113	128	121
総計	02)指導員	339	283	321	370	354	333
	03)保育士	644	613	649	676	788	674
	04)介護職員	937	914	1,041	1,076	984	990
	10)事務員	181	201	143	156	183	173

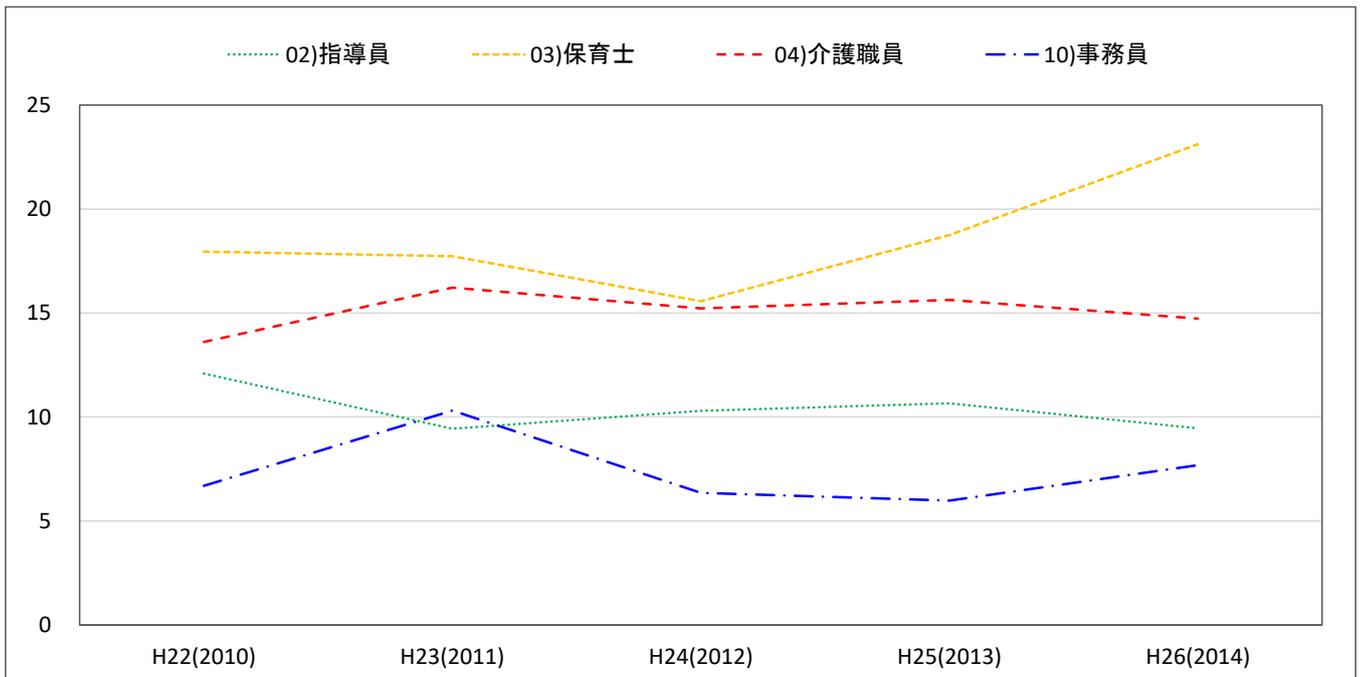
5)入職率 (入職人数×100/在籍人数)

(%)目盛はグラフにより変わる場合があります

		H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)	5年平均
男性	02)指導員	12.1	9.4	10.3	10.7	9.5	10.4
	03)保育士	17.9	17.7	15.6	18.8	23.1	18.8
	04)介護職員	13.6	16.2	15.2	15.6	14.7	15.1
	10)事務員	6.7	10.3	6.4	6.0	7.7	7.4
女性	02)指導員	14.0	13.2	12.7	14.6	14.5	13.8
	03)保育士	13.6	13.9	12.9	13.1	14.8	13.7
	04)介護職員	13.5	13.2	13.5	13.2	12.3	13.1
	10)事務員	11.6	11.2	7.7	8.7	9.8	9.8
総計	02)指導員	13.1	11.5	11.6	12.8	12.2	12.3
	03)保育士	13.8	14.0	13.0	13.3	15.1	13.8
	04)介護職員	13.5	14.0	14.0	13.9	13.0	13.7
	10)事務員	9.8	10.9	7.2	7.7	9.1	8.9

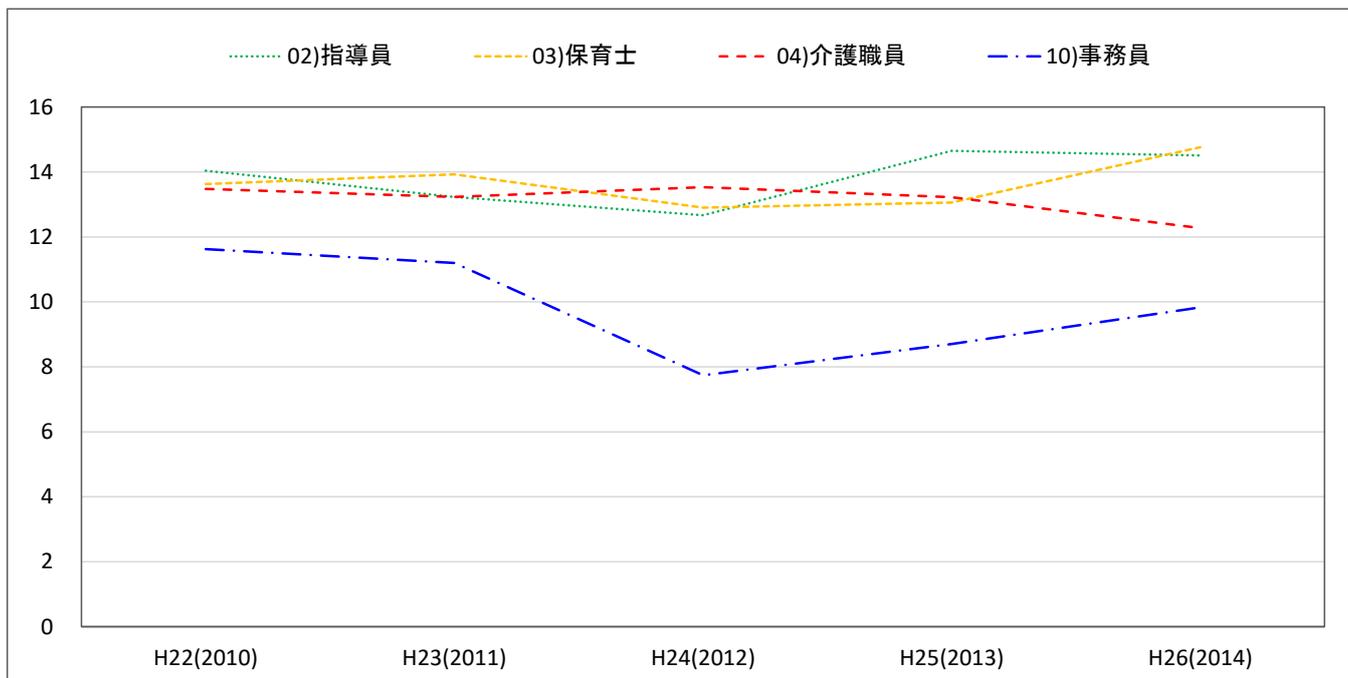
グラフ2-2の5:職種その1:男女別×年度別入職率(男性)

(%)目盛はグラフにより変わる場合があります



グラフ2-2の6:職種その1:男女別×年度別入職率(女性)

(%)目盛はグラフにより変わる場合があります



6)再加入人数(会員法人内での転職)

(人)

		H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)	5年平均
男性	02)指導員	3	1	3	6	3	3
	03)保育士	0	0	0	1	1	0
	04)介護職員	3	2	8	6	7	5
	10)事務員	0	1	1	0	1	1
女性	02)指導員	3	1	3	4	2	3
	03)保育士	6	5	0	4	15	6
	04)介護職員	3	2	9	7	8	6
	10)事務員	0	0	0	0	2	0
総計	02)指導員	6	2	6	10	5	6
	03)保育士	6	5	0	5	16	6
	04)介護職員	6	4	17	13	15	11
	10)事務員	0	1	1	0	3	1

7)入職者の再加入率(再加入人数/同期間中の入職人数)

(%)

		H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)	5年平均
男性	02)指導員	2.1	0.9	2.3	4.3	2.4	2.5
	03)保育士	0.0	0.0	0.0	3.0	2.2	1.3
	04)介護職員	1.3	0.7	2.6	1.8	2.1	1.7
	10)事務員	0.0	1.4	2.2	0.0	1.8	1.2
女性	02)指導員	1.5	0.6	1.6	1.7	0.9	1.3
	03)保育士	1.0	0.9	0.0	0.6	2.0	0.9
	04)介護職員	0.4	0.3	1.2	0.9	1.2	0.8
	10)事務員	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6	0.3
総計	02)指導員	1.8	0.7	1.9	2.7	1.4	1.7
	03)保育士	0.9	0.8	0.0	0.7	2.0	0.9
	04)介護職員	0.6	0.4	1.6	1.2	1.5	1.1
	10)事務員	0.0	0.5	0.7	0.0	1.6	0.6

3. 属性別離職率の概要：5年間（H22(2010)～H26(2014)年度）の年間離職率 平均値と推移

7.5%未満
(低い) ベスト30
(低い) ランキングした
15%以上 ワースト30
(高い) 属性数は132

3%以上：↑↑
1%以上：↑
-1～1%：→
-1%以下：↓
-3%以下：↓↓

属性no	属性名称	性別	2010～2014年度の平均在籍人数	全体に占める人数シェア(%)	2010～2014年度の年間平均離職人数	2010→2014年度の人数増減(%)	2010～2014年度の年間平均離職率	離職率ランキング(順位)	2010～2014年度の年間離職率max	2010～2014年度の年間離職率min	年間離職率の変動幅	2010～11→2013～14年度の離職率増減	離職率トレンド
3	総計	総計	25,251	100.0	2,550	7.7	10.1		10.6	9.6	1.0	0.2	→
1	男性計	男性	5,935	23.5	500	15.6	8.4	88	8.7	7.6	1.2	0.5	→
2	女性計	女性	19,316	76.5	2,050	5.5	10.6	52	11.2	10.2	1.0	0.1	→
1	20歳未満	男性	50	0.2	8	40.0	15.9	11	18.9	8.3	10.5	3.4	↑↑
2	20～24歳	男性	590	2.3	54	0.7	9.1	75	10.5	7.7	2.9	0.2	→
3	25～29歳	男性	961	3.8	92	7.4	9.6	68	10.6	8.8	1.8	0.0	→
4	30～34歳	男性	959	3.8	82	-1.1	8.6	86	9.6	7.6	2.0	0.4	→
5	35～39歳	男性	936	3.7	55	7.6	5.9	125	6.8	4.0	2.8	0.8	→
6	40～49歳	男性	1,174	4.6	63	21.0	5.4	127	5.8	4.5	1.3	1.0	→
7	50～59歳	男性	854	3.4	75	7.1	8.8	80	9.8	8.1	1.6	0.3	→
8	60～64歳	男性	249	1.0	42	8.7	16.8	9	21.7	12.7	9.1	0.5	→
9	65～69歳	男性	98	0.4	18	-4.7	18.7	6	22.0	15.5	6.4	0.3	→
10	70歳以上	男性	62	0.2	10	13.5	16.7	10	21.4	10.9	10.5	1.9	↑
1	20歳未満	女性	205	0.8	24	6.7	11.9	29	15.6	8.0	7.6	-5.7	↓↓
2	20～24歳	女性	3,003	11.9	359	-7.3	11.9	28	14.0	10.8	3.1	-0.8	→
3	25～29歳	女性	3,018	12.0	411	-2.1	13.6	20	14.4	13.1	1.3	-0.1	→
4	30～34歳	女性	2,240	8.9	232	1.9	10.4	55	11.3	8.6	2.7	0.3	→
5	35～39歳	女性	2,060	8.2	169	9.5	8.2	95	9.6	7.3	2.3	0.9	→
6	40～49歳	女性	4,046	16.0	287	2.0	7.1	121	7.8	6.5	1.3	1.1	↑
7	50～59歳	女性	3,801	15.1	403	6.2	10.6	53	11.6	9.4	2.2	0.1	→
8	60～64歳	女性	666	2.6	122	11.0	18.3	8	21.0	15.6	5.4	-2.9	↓
9	65～69歳	女性	182	0.7	33	13.5	18.3	7	22.1	14.4	7.7	5.6	↑↑
10	70歳以上	女性	96	0.4	11	23.6	11.4	34	13.0	9.0	4.0	1.0	↑
1	02)指導員	男性	1,245	4.9	90	5.2	7.2	116	8.0	6.5	1.5	1.0	→
2	03)保育士	男性	168	0.7	21	7.6	12.6	25	14.4	9.7	4.7	-1.8	↓
3	04)介護職員	男性	1,972	7.8	173	13.7	8.8	81	9.7	8.0	1.7	0.8	→
4	10)事務員	男性	702	2.8	40	4.5	5.7	126	6.2	5.1	1.2	0.0	→
5	05)医師	男性	372	1.5	58	4.3	15.5	13	18.9	13.7	5.2	-0.8	→
6	06)看護師	男性	144	0.6	12	26.3	8.6	85	10.1	7.0	3.0	-0.1	→
7	07)訓練指導員	男性	212	0.8	17	5.6	7.9	100	9.9	6.2	3.7	-1.2	↓
8	08)栄養士	男性	20	0.1	2	17.6	10.0	62	13.6	5.9	7.8	3.4	↑↑
9	09)調理員	男性	137	0.5	15	1.2	11.1	44	15.5	8.6	6.9	-2.0	↓
10	01)施設長	男性	307	1.2	25	-2.8	8.0	98	10.0	4.8	5.2	1.7	↑
11	11)介助員	男性	56	0.2	7	7.7	12.1	26	16.4	6.7	9.7	-1.4	↓
12	12)ホームヘルパー	男性	9	0.0	1	-6.0	14.9	14	27.3	0.0	27.3	-11.6	↓↓
13	13)介護支援専門員	男性	114	0.5	8	11.6	7.4	114	9.7	4.9	4.8	0.3	→
14	14)その他	男性	477	1.9	31	3.0	6.5	122	7.4	4.5	2.9	1.0	↑
1	02)指導員	女性	1,475	5.8	155	5.6	10.5	54	10.8	10.2	0.6	-0.3	→
2	03)保育士	女性	4,704	18.6	522	4.1	11.1	45	11.5	10.6	0.9	0.0	→
3	04)介護職員	女性	5,271	20.9	600	1.3	11.4	37	12.5	10.3	2.2	0.5	→
4	10)事務員	女性	1,239	4.9	77	5.9	6.2	124	7.0	5.2	1.8	0.9	→
5	05)医師	女性	117	0.5	23	-12.8	19.3	5	21.4	15.7	5.7	-1.6	↓
6	06)看護師	女性	2,927	11.6	302	-1.7	10.3	56	11.3	9.7	1.5	-0.1	→
7	07)訓練指導員	女性	282	1.1	23	14.2	8.1	96	8.9	7.0	1.9	1.1	↑
8	08)栄養士	女性	620	2.5	67	0.7	10.8	50	12.2	9.6	2.6	1.1	↑
9	09)調理員	女性	783	3.1	111	-8.5	14.2	18	16.8	12.3	4.5	-1.6	↓
10	01)施設長	女性	222	0.9	18	-2.8	8.0	97	9.9	6.6	3.3	2.5	↑
11	11)介助員	女性	163	0.6	18	16.4	10.9	47	15.0	7.3	7.7	-5.8	↓↓
12	12)ホームヘルパー	女性	253	1.0	28	-12.6	11.2	42	13.8	9.1	4.7	-2.7	↓
13	13)介護支援専門員	女性	410	1.6	36	1.5	8.9	78	11.1	7.1	4.1	1.2	↑
14	14)その他	女性	852	3.4	70	6.1	8.3	92	9.8	7.5	2.2	0.7	→

7.5%未満 (低い)	ベスト30 (低い)
15%以上 (高い)	ワースト30 (高い)

ランキングした
属性数は132

3%以上: ↑↑
1%以上: ↑
-1~1%: →
-1%以下: ↓
-3%以下: ↓↓

属性no	属性名称	性別	2010~2014年度の平均在籍人数	全体に占める人数シェア(%)	2010~2014年度の年間平均離職人数	2010→2014年度の人 数増減(%)	2010~2014年度の年間平均離職率	離職率ラ ンク(順 位)	2010~2014年度の年間離職率max	2010~2014年度の年間離職率min	年間離職率の変動幅	2010~11→2013~14年度の離職率増減	離職率 トレンド
3	総計	総計	25,251	100.0	2,550	7.7	10.1		10.6	9.6	1.0	0.2	→
1	10人未満	男性		0.2	5	-9.6	10.2	61	14.9	2.9	12.0	-9.5	↓↓
2	10~49人	男性	848	3.4	74	9.5	8.8	82	9.5	8.0	1.5	-0.2	→
3	50~99人	男性	740	2.9	76	-14.3	10.2	59	13.3	7.7	5.6	3.2	↑↑
4	100~299人	男性	1,641	6.5	143	23.2	8.7	83	9.6	8.2	1.4	0.1	→
5	300~999人	男性	780	3.1	70	43.1	9.0	76	10.1	7.4	2.7	1.7	↑
6	1000~2999人	男性	343	1.4	22	17.6	6.4	123	7.9	4.9	2.9	0.7	→
7	3000人以上	男性	1,535	6.1	110	15.7	7.2	117	7.9	6.6	1.2	-0.3	→
1	10人未満	女性	110	0.4	12	-1.9	10.9	49	14.6	7.9	6.6	0.3	→
2	10~49人	女性	4,687	18.6	551	-2.0	11.7	31	12.1	11.3	0.8	-0.1	→
3	50~99人	女性	2,408	9.5	310	-3.1	12.9	23	13.8	11.5	2.4	0.6	→
4	100~299人	女性	4,828	19.1	525	4.4	10.9	48	11.8	10.1	1.7	0.3	→
5	300~999人	女性	2,092	8.3	238	42.8	11.4	39	13.1	9.9	3.2	0.2	→
6	1000~2999人	女性	1,157	4.6	108	4.1	9.4	69	10.6	8.8	1.8	-0.4	→
7	3000人以上	女性	4,033	16.0	306	5.1	7.6	111	8.0	7.2	0.8	0.1	→
1	1年未満	男性	311	1.2	28	14.0	9.1	72	10.9	7.0	3.9	-3.1	↓↓
2	1~2年未満	男性	676	2.7	95	27.3	14.1	19	15.0	12.5	2.5	0.7	→
3	2~3年未満	男性	561	2.2	76	1.4	13.6	21	15.9	9.8	6.1	-1.3	↓
4	3~5年未満	男性	898	3.6	97	4.1	10.8	51	12.9	9.2	3.7	2.0	↑
5	5~10年未満	男性	1,554	6.2	113	4.3	7.3	115	8.1	5.8	2.3	1.3	↑
6	10年以上	男性	1,933	7.7	91	32.4	4.7	128	5.1	4.2	0.9	0.4	→
1	1年未満	女性	831	3.3	74	-4.3	8.9	77	10.8	5.7	5.0	-1.8	↓
2	1~2年未満	女性	2,371	9.4	349	6.0	14.7	15	15.8	13.9	1.9	0.7	→
3	2~3年未満	女性	1,995	7.9	254	-5.5	12.7	24	14.6	11.0	3.6	0.3	→
4	3~5年未満	女性	3,401	13.5	441	-15.4	13.0	22	13.9	11.8	2.1	1.1	↑
5	5~10年未満	女性	5,390	21.3	552	7.5	10.2	57	10.6	9.8	0.8	0.2	→
6	10年以上	女性	5,328	21.1	380	25.9	7.1	120	7.4	6.7	0.7	0.1	→
1	0)入所	男性	3,388	13.4	283	17.4	8.4	90	8.9	7.2	1.8	1.0	↑
2	1)通所・デイ	男性	1,145	4.5	112	9.5	9.8	65	10.4	8.9	1.5	0.5	→
3	2)施設外	男性	25	0.1	1	33.3	3.1	131	7.1	0.0	7.1	3.5	↑↑
4	3)その他	男性	1,376	5.5	104	16.1	7.5	113	8.9	6.9	2.0	-1.0	↓
1	0)入所	女性	8,079	32.0	916	3.4	11.3	40	12.3	10.5	1.8	0.5	→
2	1)通所・デイ	女性	7,401	29.3	830	9.0	11.2	43	11.8	10.7	1.1	-0.0	→
3	2)施設外	女性	283	1.1	28	-18.0	9.7	66	12.7	7.3	5.3	-2.5	↓
4	3)その他	女性	3,553	14.1	277	5.2	7.8	103	8.1	7.5	0.7	-0.3	→
1	1)生活保護に関する施設等	男性	75	0.3	6	12.5	8.2	93	11.0	5.5	5.5	-0.6	→
2	2)児童福祉に関する施設等	男性	584	2.3	58	12.0	9.9	64	11.5	7.8	3.7	1.0	↑
3	3)老人福祉に関する施設等	男性	2,617	10.4	224	16.8	8.6	87	9.4	7.4	2.0	1.0	→
4	4)身体障害者に関する施設等	男性	0	0.0	0	-100.0	50.0	1	100.0	0.0	100.0		
5	5)売春防止に関する施設等	男性	0	0.0	0	-100.0	50.0	1	100.0	0.0	100.0		
6	6)障害者総合支援法に関する施設等	男性	1,371	5.4	114	15.8	8.3	91	9.0	7.6	1.4	0.6	→
7	7)その他の社会福祉施設・その他施設等	男性	1,286	5.1	98	14.9	7.6	109	8.6	6.8	1.8	-0.8	→

7.5%未満
(低い) ベスト30
(低い)

15%以上
(高い) ワースト30
(高い)

ランキングした
属性数は132

3%以上: ↑↑
1%以上: ↑
-1~1%: →
-1%以下: ↓
-3%以下: ↓↓

属性no	属性名称	性別	2010～2014年度の平均在籍人数	全体に占める人数シェア(%)	2010～2014年度の年間平均離職人数	2010→2014年度の人数増減(%)	2010～2014年度の年間平均離職率	離職率ランキング(順位)	2010～2014年度の年間離職率max	2010～2014年度の年間離職率min	年間離職率の変動幅	2010～11→2013～14年度の離職率増減	離職率トレンド
3	総計	総計	25,251	100.0	2,550	7.7	10.1		10.6	9.6	1.0	0.2	→
1	1)生活保護に関係する施設等	女性	111	0.4	9	-5.1	7.7	107	9.8	2.9	6.9	2.7	↑
2	2)児童福祉に関係する施設等	女性	6,362	25.2	724	10.4	11.4	36	11.8	10.9	0.8	-0.0	→
3	3)老人福祉に関係する施設等	女性	7,350	29.1	837	-1.0	11.4	35	12.3	10.5	1.8	0.7	→
4	4)身体障害者に関係する施設等	女性	3	0.0	0	-33.3	7.1	118	33.3	0.0	33.3	16.7	↑↑
5	5)売春防止に関係する施設等	女性	3	0.0	0	100.0	14.3	16	33.3	0.0	33.3	12.5	↑↑
6	6)障害者総合支援法に関係する施設等	女性	2,219	8.8	226	15.1	10.2	60	11.5	9.2	2.3	-0.8	→
7	7)その他の社会福祉施設・その他施設等	女性	3,267	12.9	253	5.2	7.8	105	8.2	7.4	0.8	-0.3	→
1	1)社会福祉施設等	男性	75	0.3	6	3.4	8.2	93	11.5	5.5	6.1	-3.5	↓↓
2	2)社会福祉施設等	男性	583	2.3	58	31.2	9.9	63	0.0	7.8	-7.8	3.8	↑↑
3	2)申出施設等	男性	1	0.0	0	1.2	0.0	132	9.7	0.0	9.7	0.0	→
4	3)社会福祉施設等	男性	90	0.4	7	-2.8	8.0	99	6.4	5.9	0.5	-1.2	↓
5	3)申出施設等	男性	147	0.6	7	16.0	4.6	129	9.7	0.0	9.7	5.1	↑↑
6	3)特定介護保険施設等	男性	2,380	9.4	210	198.6	8.8	79	100.0	7.7	92.3	0.8	→
7	4)社会福祉施設等	男性	0	0.0	0	-0.6	50.0	1	100.0	0.0	100.0	0.0	→
8	5)社会福祉施設等	男性	0	0.0	0	-0.6	50.0	1	9.1	0.0	9.1	0.0	→
9	6)社会福祉施設等	男性	1,344	5.3	113	79.0	8.4	89	11.5	7.5	4.0	1.1	↑
10	6)申出施設等	男性	27	0.1	1	9.4	4.4	130	8.6	0.0	8.6	-11.1	↓↓
11	7)申出施設等	男性	1,286	5.1	98	87.8	7.6	109	9.8	6.8	3.0	-0.3	→
1	1)社会福祉施設等	女性	111	0.4	9	-6.6	7.7	107	11.7	2.9	8.8	0.5	→
2	2)社会福祉施設等	女性	6,336	25.1	720	207.4	11.4	38	32.1	11.0	21.2	-0.1	→
3	2)申出施設等	女性	26	0.1	4	6.8	15.5	12	12.4	8.7	3.7	-0.5	→
4	3)社会福祉施設等	女性	332	1.3	38	-7.0	11.4	33	9.4	9.9	-0.6	0.8	→
5	3)申出施設等	女性	485	1.9	38	8.8	7.8	102	12.5	6.3	6.2	3.1	↑↑
6	3)特定介護保険施設等	女性	6,534	25.9	762	-70.4	11.7	32	33.3	10.8	22.6	1.7	↑
7	4)社会福祉施設等	女性	3	0.0	0	-0.2	7.1	118	33.3	0.0	33.3	0.0	→
8	5)社会福祉施設等	女性	3	0.0	0	0.8	14.3	16	11.6	0.0	11.6	25.0	↑↑
9	6)社会福祉施設等	女性	2,181	8.6	223	142.8	10.2	58	15.8	9.4	6.4	-0.2	→
10	6)申出施設等	女性	39	0.2	3	8.6	7.8	104	8.2	2.5	5.7	2.5	↑
11	7)申出施設等	女性	3,267	12.9	253	46.0	7.8	105	9.5	7.4	2.1	0.1	→
1	東部	男性	1,814	7.2	165	13.2	9.1	74	10.1	7.9	2.2	1.3	↑
2	中部	男性	1,008	4.0	92	12.7	9.1	71	10.4	7.8	2.6	-0.0	→
3	西部	男性	3,113	12.3	243	18.0	7.8	101	8.4	6.9	1.4	0.2	→
1	東部	女性	5,241	20.8	629	9.4	12.0	27	12.9	11.1	1.8	0.2	→
2	中部	女性	4,070	16.1	458	2.2	11.2	41	11.8	10.7	1.1	-0.2	→
3	西部	女性	10,004	39.6	963	4.9	9.6	67	10.4	9.0	1.4	0.2	→
1	静岡市	男性	759	3.0	65	10.6	8.6	84	10.9	7.4	3.5	1.1	↑
2	浜松市	男性	2,474	9.8	187	16.2	7.6	112	8.4	6.9	1.5	0.5	→
3	指定都市以外	男性	2,702	10.7	247	16.5	9.1	70	9.9	8.1	1.7	0.2	→
1	静岡市	女性	2,858	11.3	314	0.9	11.0	46	11.6	10.2	1.4	-0.1	→
2	浜松市	女性	7,599	30.1	692	4.3	9.1	73	9.7	8.3	1.3	0.5	→
3	指定都市以外	女性	8,858	35.1	1,045	8.1	11.8	30	12.8	11.2	1.6	-0.1	→

IV. 静共済加入者の離職率考察

1. 参考：厚生労働省「平成25年雇用動向調査の概況」より抜粋紹介

1) 離職率および入職率の算式

「入（離）職率」

在籍者に対する入（離）職者の割合をいい、次式により算出している。

$$\text{入（離）職率} = \frac{\text{入（離）職者数}}{\text{1月1日現在の常用労働者数}} \times 100 (\%)$$

（年齢階級別は6月末日現在の常用労働者数）

2) 入職と離職の推移

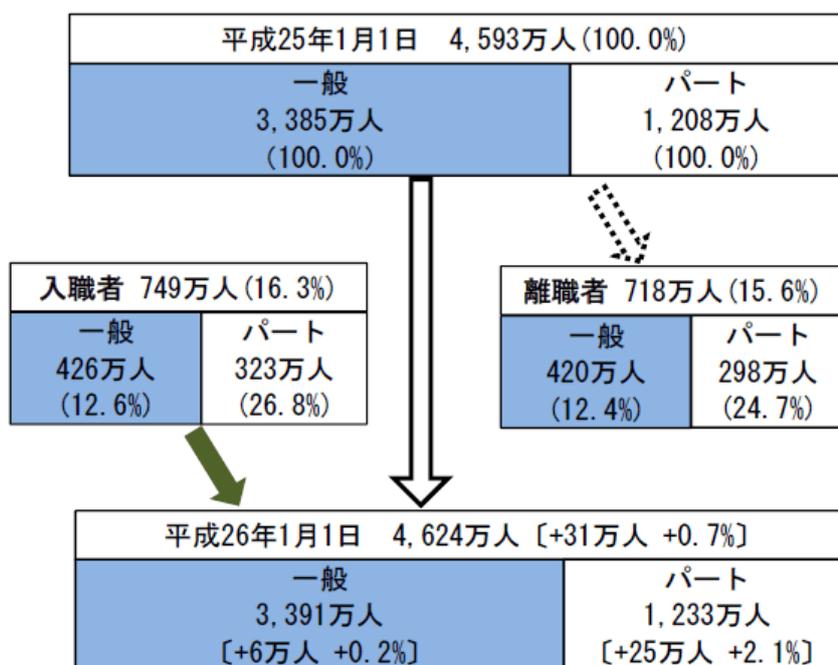
1 入職と離職の推移

(1) 平成25年の常用労働者の動き

平成25年1年間に入職者数は749万人（年初の常用労働者数に対する割合16.3%）、離職者数は718万人（同15.6%）となっている。この結果、常用労働者数は、事業所の新設や閉鎖等の影響を除き、31万人（同0.7%）の増加となっている。

これを就業形態別にみると、一般労働者は、入職者426万人（年初の常用労働者のうち一般労働者の人数に対する割合12.6%）、離職者420万人（同12.4%）で差引6万人（同0.2%）の増加となっている。パートタイム労働者は、入職者323万人（年初の常用労働者のうちパートタイム労働者の人数に対する割合26.8%）、離職者298万人（同24.7%）で差引25万人（同2.1%）の増加となっている。（図1、付属統計表1-1、付属統計表1-2）

図1 平成25年の常用労働者の動き



- 注：1) 入職には、事業所の新設等に伴う労働者増加を含まない。
 2) 離職には、事業所の閉鎖等に伴う労働者減少を含まない。
 3) 平成26年1月1日の常用労働者数は、事業所の新設や閉鎖等がなかったと仮定したときの推計労働者数である。
 4) 四捨五入しているため計数は必ずしも一致しない。
 5) () 内は年初の常用労働者数に対する割合である。
 6) [] 内は年初の常用労働者数に対する増減差及び増減率である。

2. 計算方法の違いによる離職率の誤差の程度を知る

後の項目で、静共済加入者の離職率について考察している。その中では、静共済加入者の離職率が高いのか？低いのか？判断するため、公開されている他の離職率調査と比較を行った。その中で「離職率＝ 期中に離職した者／期初在籍者」の算式で再計算した、静共済加入者の離職率である。

比較対象とした他の離職率調査は、主に以下の3つの調査である。

- (1) 厚生労働省 平成25年度雇用実態調査
- (2) 独立行政法人福祉医療機構の平成27年度退職手当共済事業における離職率計算
- (3) 公益財団法人介護労働安定センターによる平成24年度、25年度の介護労働実態調査

上記3つの離職率調査は、いずれも本報告書「第1部 II-2. 離職率の主な算式とそれぞれの特徴」で紹介した③の算式を使用しているため、算式の違いによる誤差の程度を知るため、本調査の離職率について算式③に最も近い算式によって再計算したので、以下に掲載する（再計算したのは一部のみ）。

離職率の算式を、以下に再度掲載する（以後、それぞれの算式を「算式②」「算式③」という）。

$$\text{算式②} \quad \text{離職率} = \frac{\text{期中に離職した者}}{\text{期初在籍者}}$$

$$\text{算式③} \quad \text{離職率} = \frac{\text{期中に離職した者}}{\text{期中在籍者}} = \frac{\text{期中に離職した者}}{\text{期初在籍者} + \text{期中入職者}}$$

1) 算式②に比較的近い方法による静共済の離職率 注1)注2)

	20歳未満	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	総計
男性	43.0	13.9	11.0	9.4	6.4	5.7	9.6	19.7	20.2	17.3	9.6
女性	29.5	16.6	14.8	11.4	9.2	8.0	11.4	20.7	19.8	11.9	12.1
総計	32.0	16.2	14.0	10.8	8.3	7.4	11.0	20.4	20.0	14.1	11.5

注1) 平成22年(2010年)～平成26年(2014年)の年間平均値

注2) 離職率＝(4/1～翌3/31の離職人数／前期在職者で期初在籍者の人数)、分母に4/1入職者は含まないしたがって、算式②とは誤差がある

2) 算式③による静共済の離職率 (算式③の通り)注1) (%)

	20歳未満	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	総計
男性	15.9	9.1	9.6	8.6	5.9	5.4	8.8	16.8	18.7	16.7	8.4
女性	11.9	11.9	13.6	10.4	8.2	7.1	10.6	18.3	18.3	11.4	10.6
総計	12.7	11.5	12.6	9.8	7.5	6.7	10.3	17.9	18.4	13.5	10.1

注1) 平成22年(2010年)～平成26年(2014年)の年間平均値

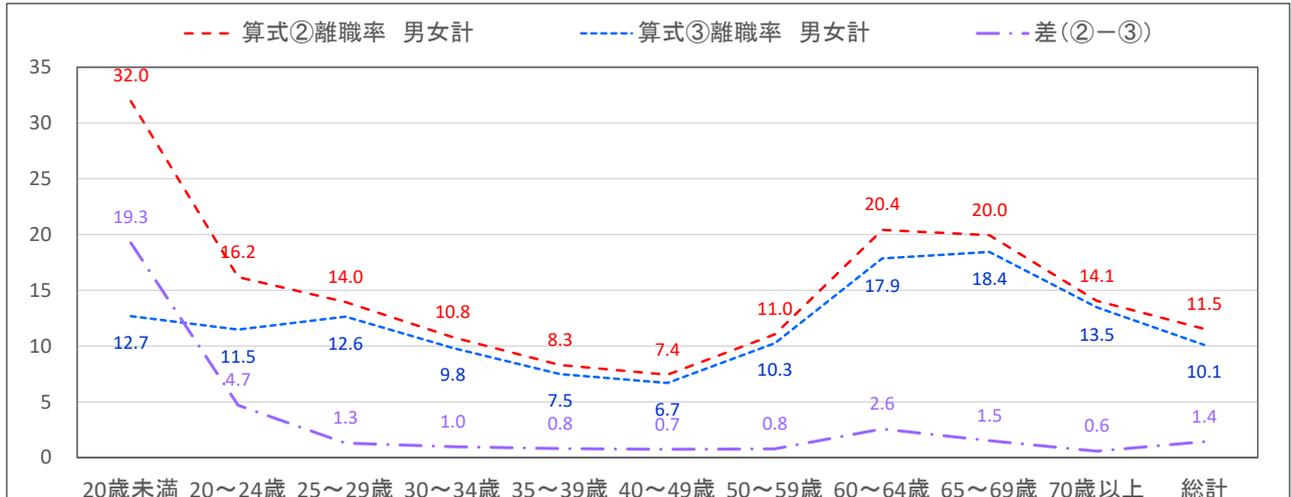
3) 算式②により離職率と算式③による離職率の差 (算式②離職率 - 算式③離職率) (%)

	20歳未満	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	総計
男性	27.1	4.8	1.4	0.9	0.5	0.4	0.8	2.9	1.4	0.7	1.1
女性	17.6	4.6	1.2	1.0	1.0	0.9	0.8	2.4	1.6	0.5	1.5
総計	19.3	4.7	1.3	1.0	0.8	0.7	0.8	2.6	1.5	0.6	1.4

4) 算式②により離職率と算式③による離職率の差: 倍率(算式②離職率 ÷ 算式③離職率) (%)

	20歳未満	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	総計
男性	2.71	1.53	1.15	1.10	1.08	1.07	1.09	1.18	1.08	1.04	1.14
女性	2.47	1.39	1.09	1.10	1.12	1.12	1.07	1.13	1.08	1.05	1.14
総計	2.52	1.41	1.10	1.10	1.11	1.11	1.08	1.14	1.08	1.04	1.14

算式②と算式③による静共済加入者の離職率(男女計年齢層別)



算式②に比較的近い方法による離職率は、算式③による離職率に比べ、1.4ポイント高く出ている（男女計年齢計で）。倍率では1.14倍（男女計年齢計で）。

若年層の差は激しく、20～24歳では4.7ポイント、20歳未満では19.3ポイントも高い（男女計で）。倍率では、20～24歳では1.41倍、20歳未満は2.52倍である（男女計で）。

算式により、このような差が生じることを知らないと、比較値があっても正しい比較はできないし、どちらが高いのか、正しい判断はできない。若年層については、全く同じ算式によらなければ、比較することに意味がない。正しい判断ができないばかりでなく、値の違いを理解できず、調査結果について不信感を持つ可能性すらある。

3. 若年層の離職率は、算式の違いにより、なぜ大差が生じるのか？

若年層でなぜこのような大きな差がなぜ生じるのか？ それは、若年層特有の事情と算式の問題がある。それを簡潔に説明してみる。

1) 若年層は、4/1にまとまった人数が新卒で入職する。

18歳で高卒が就職、19歳以降では専門学校等卒が就職、22～23歳頃は大卒が就職、24歳頃はマスター卒が大量就職する。

2) 離職率計算期間の初日が4/1以前の場合、算式②では離職率算定期間の新卒入職者は離職率計算の分母に入らない。

例えば、厚労省の雇用動向調査の離職率計算期間は1/1～12/31である。したがって、算式②では離職率計算の分母に新卒入職者が入らない。

3) 20歳未満は、分母となる在籍人数がもともと少ない(殊に算式②では)。

高卒で就職すると18歳。2年目の4/1には19歳、3年目の4/1には20歳になっている。離職率計算期間を1/1～12/31とした場合、期初である1/1時点の20歳未満の在籍者（分母）は高卒1年目と2年目の早生まれの職員だけである。もともと分母の人数が少ないのである。

4) 分母に数えられない新卒入職者が離職率計算末日までに退職すると、分子に加えられる。

4/1前後には、少ない分母とほぼ同数あるいは分母より多い新卒が入職するが、上述の通り、その数は分母には加えられない。入職し年内（計算期間末日まで）に退職すると分子には加えられる。分母には数えられない者が分子に加えられる。上記により、離職率は高く出る傾向があり、離職率は100%を超えることがある。また、離職率の余数は定着率にならない。

5) 算式③では、この問題は生じない。

算式③では、離職率計算期間中の入職者は全員分母に加えられる。算式②と比べるとその分だけ、分母が大きくなり、離職率は低めに出る。分母には数えられない者が分子に加えられることがなく、離職率は上限が100%となり、離職率の余数は定着率となる。

ちなみに、離職率計算期間の初日以外に入職者がいなければ、算式②と算式③の離職率は全く同じ値となる。

例えば、新卒入職者が多い4/1を離職率計算期間の期初とし、4/2以後の中途入職がいなければ（少なければ）、算式②で計算した離職率は算式③と同じ値となる（若年層も異常に高い数値とはならない）。後に紹介する独立行政法人福祉医療機構の平成27年度退職手当共済事業における離職率算出は、若年層の値から、このパターンではないかと想像される。

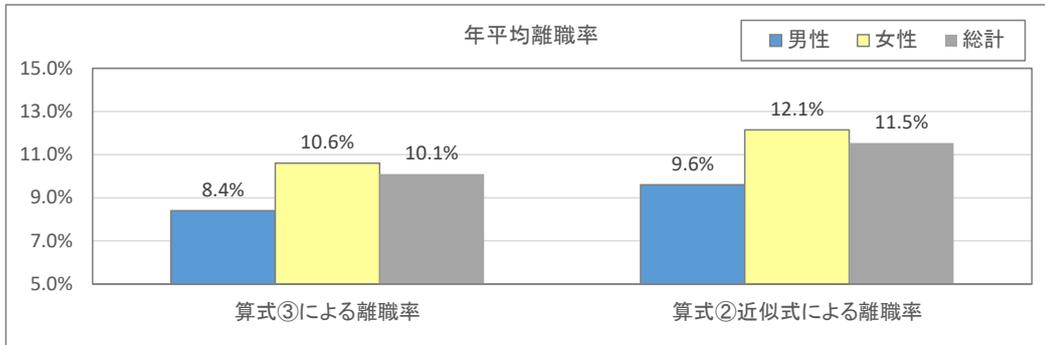
4. 静共済加入者総計の離職率

1) 平成22年度(2010年度)～平成26年度(2014年度)の5年間の年間平均離職率

平成22年度(2010年度)～平成26年度(2014年度)の年間平均離職率(算式③)は、静共済加入者全体でみると10.1%、男性は8.4%、女性は10.6%であった。

年間離職率が10.1%ということは、在籍者1000人の内、1年間で101人が離職したということである。年間離職率10.1%で10年経つと10年間の離職率は101%となる。つまり、10年間で離職者数は在籍者数とほぼ同数となる。したがって、年間離職率が10.1%ということは、在籍者の平均勤続年数はほぼ10年ちょうどということ、10年で在籍者全員が入れ替わる程度の離職率であることを意味している。

静共済加入者の年平均離職率
平成22年度(2010年度)～平成26年度(2014年度)の5年間

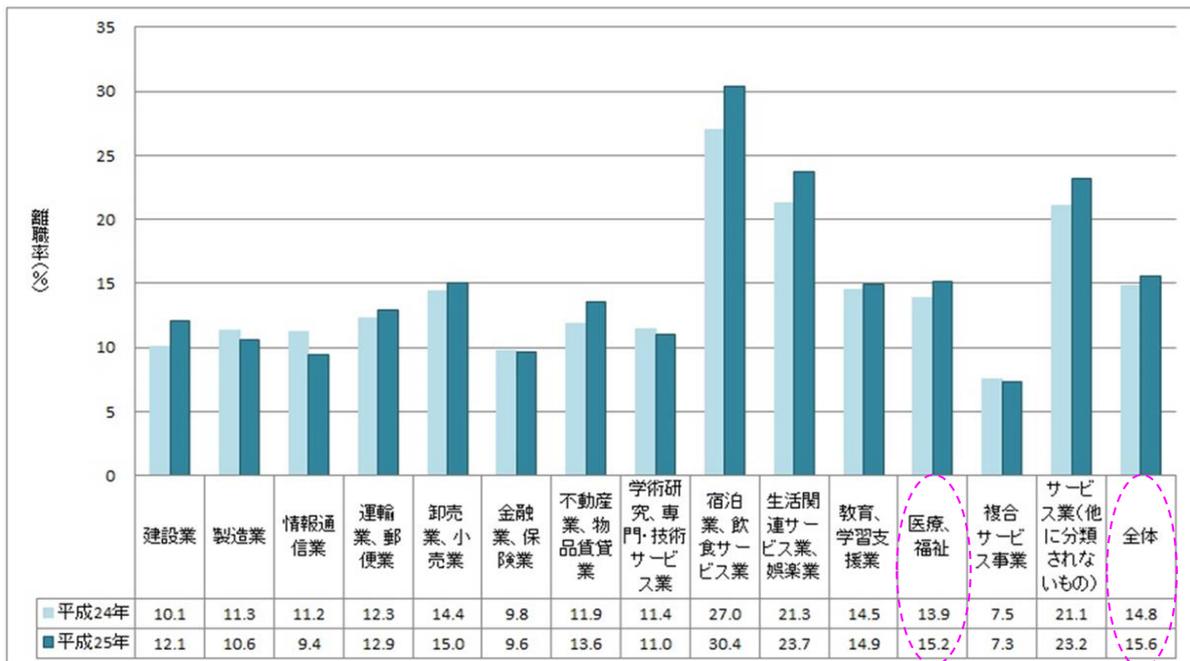


5. 世間の同時期の年間離職率と比較して

厚生労働省の雇用動向調査によると、全産業の年間離職率(算式②)は、平成24年度(2012年)が14.8%、平成25年度(2013年)は15.6%であった。雇用動向調査は、パートタイム労働者を約27%程度含む値である。

同調査によると医療・福祉産業の離職率(退職率)は、平成24年度(2012年)が13.9%、平成25年度(2013年)は15.2%と全産業よりやや低いレベルであった。

<参考> 厚生労働省雇用動向調査 全産業および産業別離職率(H24年、H25年)



厚生労働省の雇用動向調査のデータ（算式②）と比較すると、静共済加入者の離職率11.5%（算式②）は全産業の75%程度であり、かなり低かった。全国の医療・福祉産業の離職率と比較しても、静共済の離職率は80%弱と低かった。雇用動向調査は、いわゆる非正規社員（パート労働者）を含む調査であり、静共済加入者と非正規比率は異なるが、それを考慮しても、静共済加入者の離職率は高くはないと考えられる。

独立行政法人福祉医療機構の平成27年度（2015年度）退職手当共済事業のデータ（算式②）によると（データは後のページに掲載した）、職種全体（福祉医療系職種）の離職率は11.3%である。これと比べると静共済の離職率（算式②）11.5%は概ね同水準であった。

6. 平成22年度(2010年度)～平成26年度(2014年度)の年間離職率の推移

雇用動向調査では、平成23年度（2011年）の離職率14.4%から上昇傾向がみられ、平成25年度（2013年）には15.6%と、1.2%上昇した（下のグラフ参照）。

全産業で1.2%というのは、そこそこ大きな変化（振れ幅）と思われる。平成23年度（2011年）といえば、3.11に東日本大震災があった年である。震災が電力会社や被災企業はじめ、雇用動向に影響したのは間違いないだろう。しかし、震災が離職率にどれだけ影響したのか？ 定かではない。離職率上昇と呼応して、転職就職率も上昇している（下のグラフ参照）。

＜参考＞ 介護労働安全センター 介護労働実態調査（以下資料では「本調査」）
厚生労働省 雇用動向調査

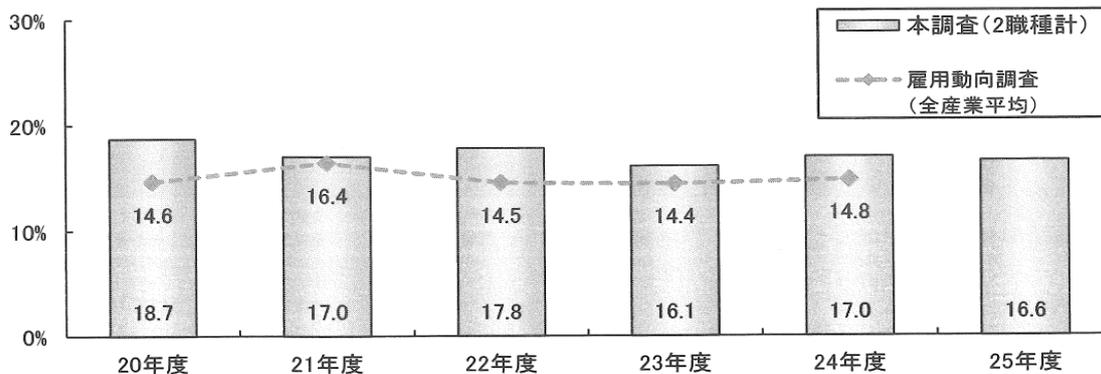
＜出典＞ 介護労働安全センター 介護労働の現状 I

② 雇用動向調査(厚生労働省)との離職率比較

	20年度 (20年)	21年度 (21年)	22年度 (22年)	23年度 (23年)	24年度 (24年)	25年度 (25年)
雇用動向調査 (産業計)	14.6	16.4	14.5	14.4	14.8	-
本調査 (2職種計)	18.7	17.0	17.8	16.1	17.0	16.6

(注1) (年)は雇用動向調査実施年

(注2) 雇用動向調査: 産業計の常用労働者



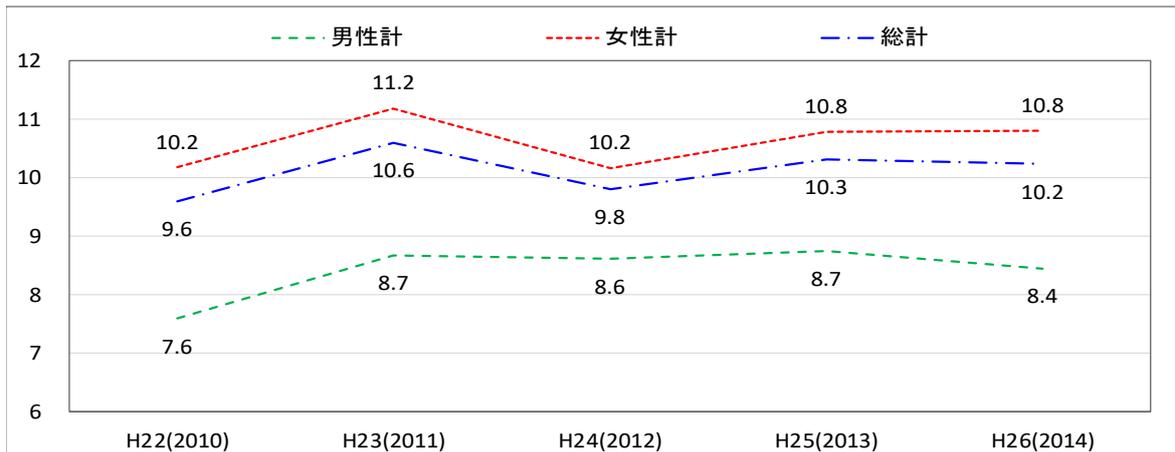
同業である、介護労働安全センターの介護労働実態調査では、平成20年度（2018年度）から平成25年度（2013年度）までの振れ幅は、最低が16.1%（平成23年度）、最高は18.7%（平成20年度）と2.6%の振れ幅であった。離職率は、やや下降傾向がみられる。

静共済加入者の離職率は、平成22年度（2010年度）から平成26年度（2014年度）までの5年間の振れ幅は、最低が9.6%（平成22年度（2010年度））、最高は10.6%（平成23年度（2011年度））と1%の幅であった（算式③）。静共済加入者の離職率は、世間相場と比較すると振れ幅が小さく、安定して推移したといえるのではないだろうか。

静共済加入者の年平均離職率推移 平成22年度(2010年度)～平成26年度(2014年度)の5年間

男女別×年度別離職率

(%)目盛に注意



7. 男女別年齢層別離職率

静共済加入者の年齢層別離職率(算式②)は、20歳未満と60歳以上は中間の年齢層に比べて1.5～2倍程度に高い。これは普通の傾向である。算式②によると、特に20歳未満が極端に高く出る。これは、算式の特徴(問題)である。このことについては、「IV. 3. 若年層の離職率は、算式の違いにより、なぜ大差が生じるのか?」に解説しているので、そちらを参考にされたい。

独立行政法人福祉医療機構の調査には、年齢層別離職率が掲載されている(以下)。静共済と同業同職種データのデータである。この調査の離職率は、4/1～3/31を離職率計算期間として算式②で計算したと記載されている(静共済の上記は算式③のデータ)。職員数は在籍で約78万人と非常に多い。

離職率を算式②で計算すると、若年層は高く出るのが一般的であるが(次頁も参照)、福祉医療機構の若年層の離職率はそうっていない。

静共済加入者の年齢層別離職率 5年間の平均値

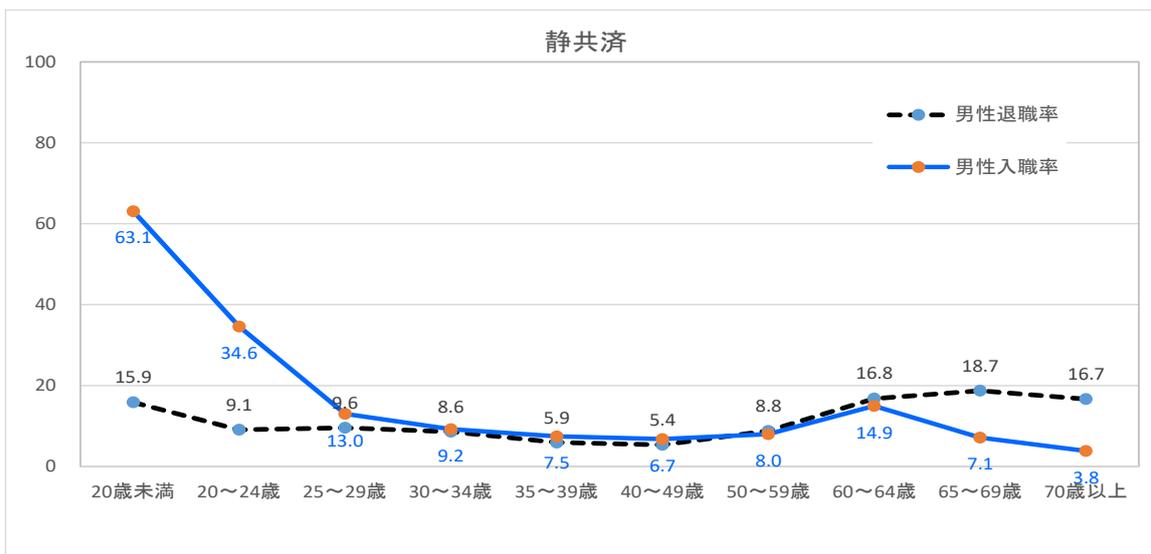
	算式③	算式②
総計	10.1%	11.5%
20歳未満	12.7%	32.0%
20～24歳	11.5%	16.2%
25～29歳	12.6%	14.0%
30～34歳	9.8%	10.8%
35～39歳	7.5%	8.3%
40～49歳	6.7%	7.4%
50～59歳	10.3%	11.0%
60～64歳	17.9%	20.4%
65～69歳	18.4%	20.0%
70歳以上	13.5%	14.1%

<参考>独立行政法人福祉医療機構の平成27年度 退職手当共済事業から(算式②)

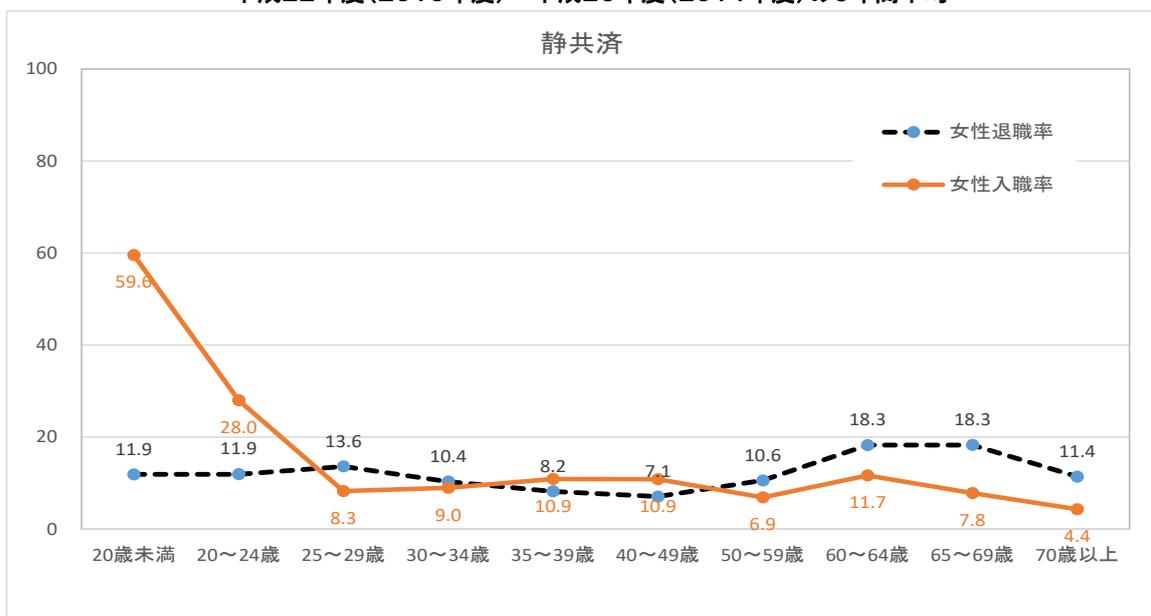
表3 年齢階層別退職率

	全 体	保育士	介護職員	指導員
総 数	11.3%	12.2%	11.4%	10.0%
～24歳	12.1%	12.2%	12.3%	9.9%
25～29歳	15.2%	17.8%	12.6%	12.9%
30～34歳	10.8%	12.9%	10.0%	9.1%
35～39歳	8.6%	9.3%	9.2%	7.0%
40～44歳	8.2%	7.9%	9.5%	7.7%
45～49歳	7.7%	6.8%	9.6%	7.6%
50～54歳	7.4%	7.4%	8.8%	7.9%
55～59歳	8.2%	9.2%	8.6%	8.7%
60～64歳	31.8%	38.1%	38.9%	31.4%
65歳～	27.4%	25.9%	40.7%	33.5%

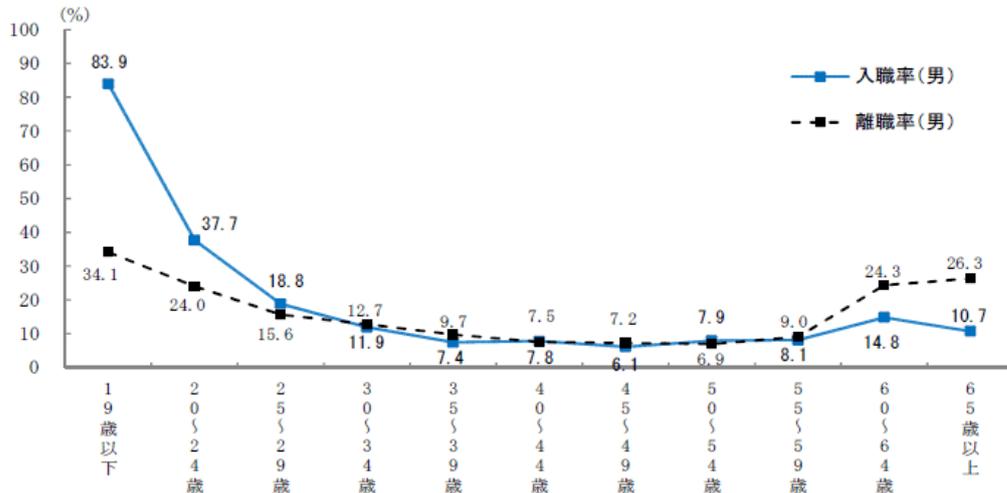
静共済加入者男性の年齢層別離職率および入職率(算式③)
平成22年度(2010年度)～平成26年度(2014年度)の5年間平均



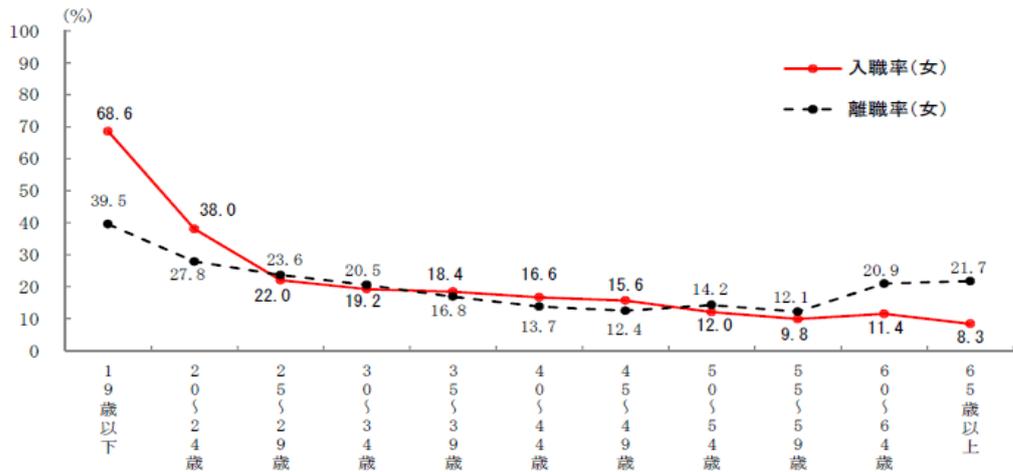
静共済加入者女性の年間の離職率と入職率(算式③)
平成22年度(2010年度)～平成26年度(2014年度)の5年間平均



<参考> 男女別年齢階層別離職率:厚生労働省雇用動向調査(算式②)



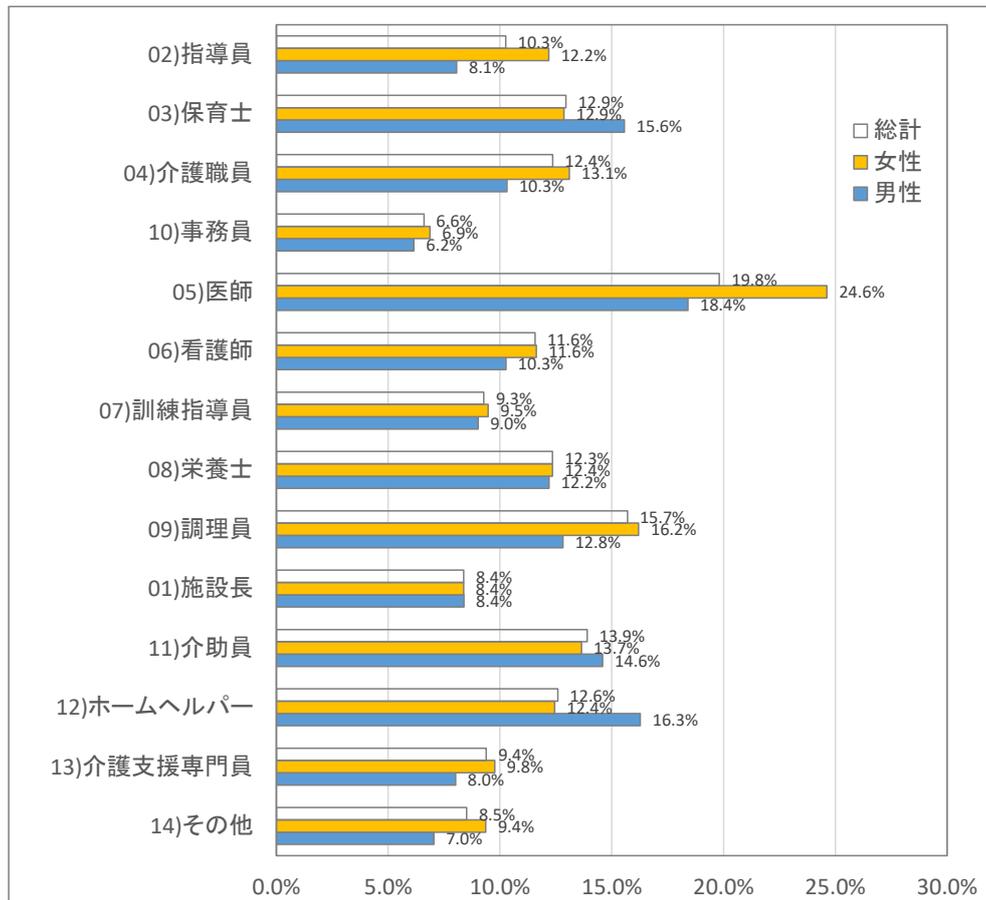
<参考> 男女別年齢階層別離職率:厚生労働省雇用動向調査(算式②)



8. 職種別離職率

以下は、算式②に近い式で再計算した静共済加入者の職種別離職率である。

静共済加入者の年間離職率(算式②)
平成22年度(2010年度)～平成26年度(2014年度)の5年間平均
静共済加入者の職種別離職率

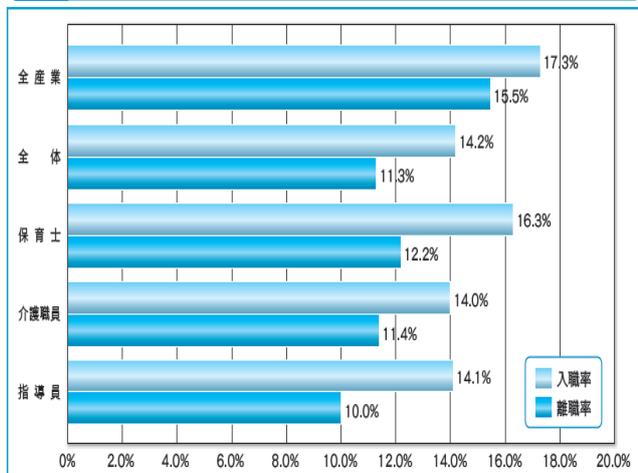


<参考>独立行政法人福祉医療機構HP 平成27年度退職手当共済事業の調査から(算式②)

表3 年齢階層別退職率

	全 体	保育士	介護職員	指導員
総 数	11.3%	12.2%	11.4%	10.0%
～24歳	12.1%	12.2%	12.3%	9.9%
25～29歳	15.2%	17.8%	12.6%	12.9%
30～34歳	10.8%	12.9%	10.0%	9.1%
35～39歳	8.6%	9.3%	9.2%	7.0%
40～44歳	8.2%	7.9%	9.5%	7.7%
45～49歳	7.7%	6.8%	9.6%	7.6%
50～54歳	7.4%	7.4%	8.8%	7.9%
55～59歳	8.2%	9.2%	8.6%	8.7%
60～64歳	31.8%	38.1%	38.9%	31.4%
65歳～	27.4%	25.9%	40.7%	33.5%

図3 加入率および退職率(全産業、全体および3職種)



1) 保育士

独立行政法人福祉医療機構の平成27年度退職手当共済事業の調査によると、保育士の離職率は12.2%、静共済の保育士の5年平均は12.9%である。静共済加入の方が若干高いが、算式が全く同一ではないため、誤差の範囲がありほぼ同等と考えるのが妥当と思う。

一方、下の資料：厚労省「社会福祉士施設等調査」によると、平成25年度（2013年）10月から平成26年度（2014年）9月にかけての保育士の離職率は、全国では10.1%、静岡県は9.3%とある。離職率は算式②の変形のようなものである。これと比較すると、静共済加入の保育士の離職率は同職種の世間相場に比べて若干高いことになる。

常勤保育士の離職率

	常勤保育士の離職率(%)			相対順位		
	総数	公立	私立	総数	公立	私立
北海道	13.6	11.9	14.3	2	2	2
青森県	10.9	7.7	11.1	14	17	27
岩手県	10.8	9.7	11.2	15	8	24
宮城県	11.1	8.4	13.4	12	14	8
秋田県	7.5	4.6	8.7	44	44	42
山形県	7.7	7.7	7.7	41	19	46
福島県	8.1	7.6	8.6	36	20	43
茨城県	11.5	10.4	12.1	10	4	18
栃木県	8.9	6.4	10.8	29	29	28
群馬県	8.5	5.3	9.5	35	40	35
埼玉県	9.5	5.2	13.0	22	41	11
千葉県	10.0	5.7	14.2	18	33	4
東京都	9.5	3.7	13.5	21	45	7
神奈川県	12.3	6.0	14.3	5	31	3
新潟県	7.0	5.0	8.9	46	43	41
富山県	7.8	5.6	9.4	39	36	37
石川県	8.0	5.3	9.4	38	38	36
福井県	7.5	5.1	9.0	43	42	39
山梨県	7.7	5.3	10.0	42	39	32
長野県	7.1	5.7	11.7	45	35	19
岐阜県	8.8	6.6	11.6	32	28	21
静岡県	9.3	8.4	9.9	25	15	33
愛知県	10.0	7.5	13.3	19	21	9
三重県	9.1	6.8	11.6	27	26	22
滋賀県	9.4	8.2	10.3	24	16	30
京都府	8.9	7.3	9.6	30	23	34
大阪府	13.1	10.4	14.1	3	5	5
兵庫県	11.8	7.7	13.9	8	18	6
奈良県	11.9	9.5	14.6	7	9	1
和歌山県	8.9	7.0	11.2	28	24	25
鳥取県	5.4	3.4	7.6	47	47	47
島根県	7.7	5.9	8.1	40	32	45
岡山県	9.7	6.0	12.1	20	30	17
広島県	9.2	5.7	12.4	26	34	15
山口県	10.3	9.0	11.1	17	10	26
徳島県	14.6	17.3	11.7	1	1	20
香川県	10.8	8.9	12.6	16	11	12
愛媛県	8.9	7.5	10.2	31	22	31
高知県	11.2	9.9	12.5	11	7	13
福岡県	12.4	8.5	13.1	4	13	10
佐賀県	12.2	11.4	12.4	6	3	14
長崎県	8.6	10.0	8.5	34	6	44
熊本県	9.5	5.6	10.3	23	37	29
大分県	8.1	3.6	8.9	37	46	40
宮崎県	11.0	8.7	11.2	13	12	23
鹿児島県	11.6	6.9	12.2	9	25	16
沖縄県	8.8	6.6	9.3	33	27	38
全国	10.1	5.4	12.0	**	**	**

* 計算式 = 2013年10月～2014年9月の離職者数 / 2013年10月時点の保育士数

資料：厚労省『社会福祉士施設等調査』

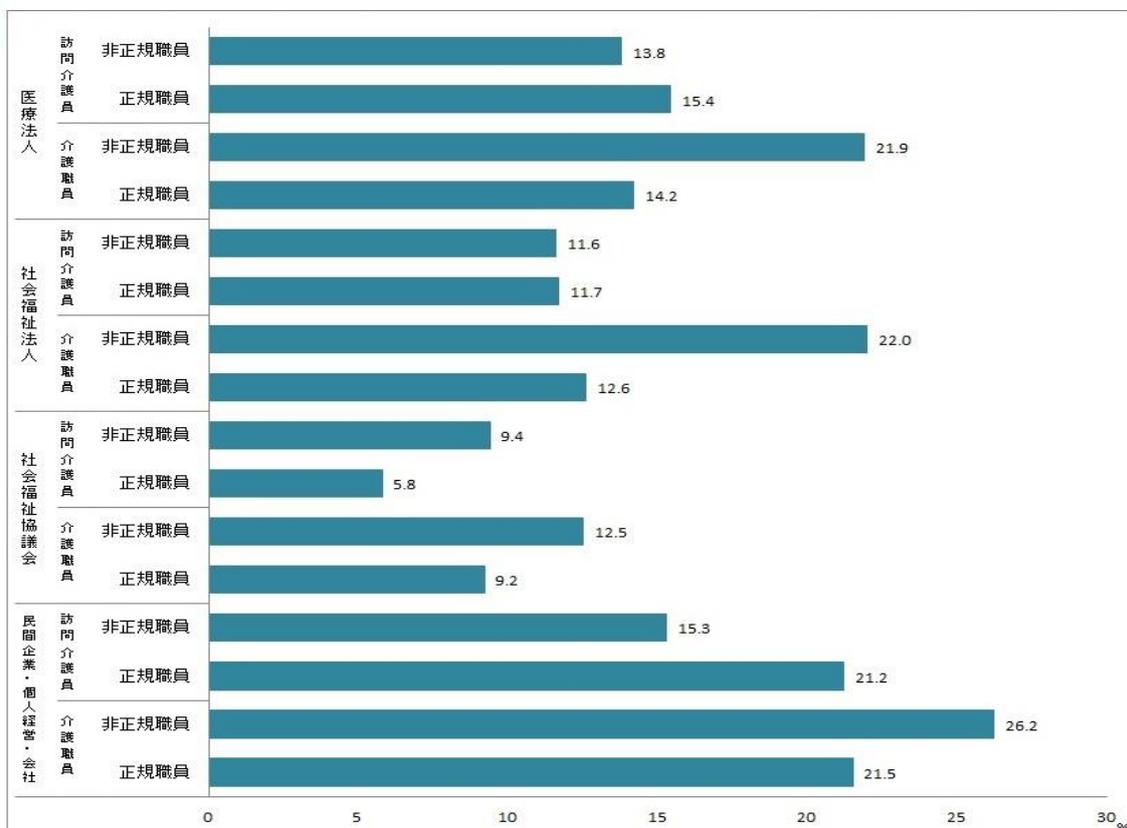
作成者：舞田敏彦 (@tmaita77)

2) 介護士(介護職員)

同様に、独立行政法人福祉医療機構の平成27年度退職手当共済事業の調査によると、介護士の離職率は11.4%、静共済加入者の介護士は12.4%（算式②）であり、静共済加入者の方が1%高い。しかし、僅差である。

さらに、公益財団法人介護労働安定センターによる平成24年度、25年度の介護労働実態調査結果では社会福祉法人の介護職員正規職員の離職率は12.6%、非正規職員は22.0%であった。静共済介護士の離職率は、概ね社会福祉法人の同職種の正規職員並であった。

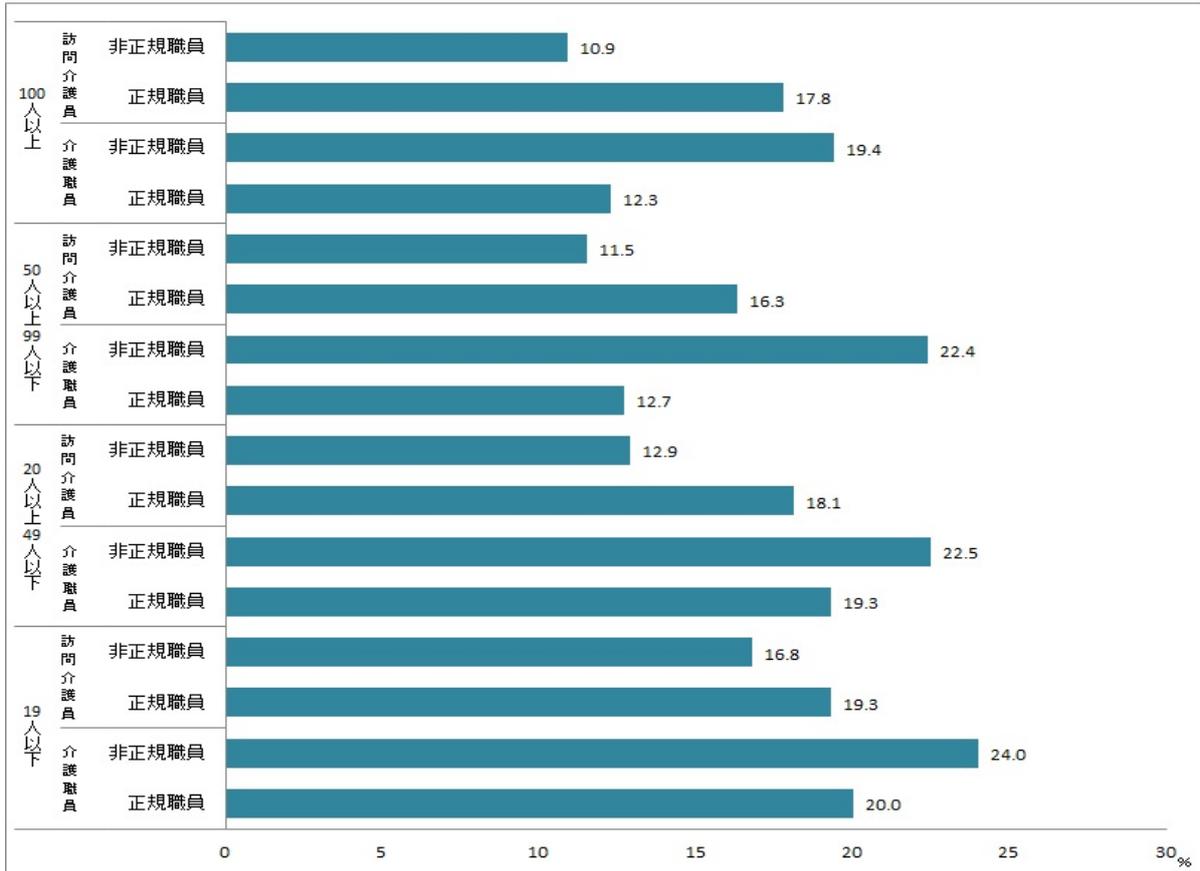
＜参考＞公益財団法人介護労働安定センターのHP 平成24年度、25年度の介護労働実態調査より



9. 法人規模別離職率

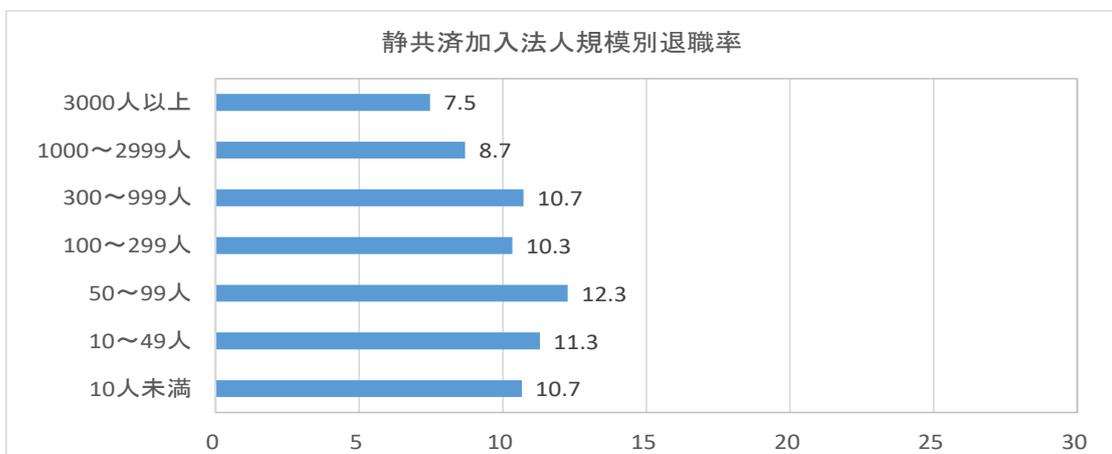
本調査より人数規模が大きい調査である公益財団法人介護労働安定センターによる平成24年度、25年度の介護労働実態調査結果によると、法人の従業員規模が小さいほど離職率は高まる傾向がみられる。

＜参考＞公益財団法人介護労働安定センターのHP 平成24年度、25年度の介護労働実態調査より



静共済でも、同様の傾向は部分的にはみられるが、静共済のデータでは、むしろ50～99人規模の法人が最も離職率が高く、それより規模が大きいか、小さくなると、離職率が下がる傾向がみられる。

静共済加入者の法人規模別離職率(算式③)
平成22年度(2010年度)～平成26年度(2014年度)の5年間平均



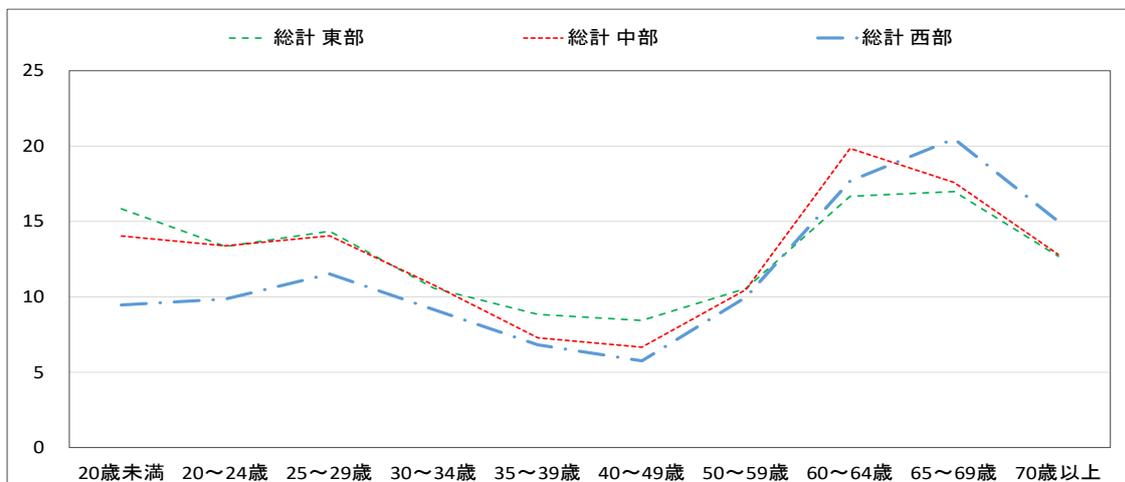
10. 地域別離職率

県内での地域性の違いがあるかどうか、分析してみた。

下のグラフは、東部・中部・西部に分けて、年齢層別離職率を計算した結果である。

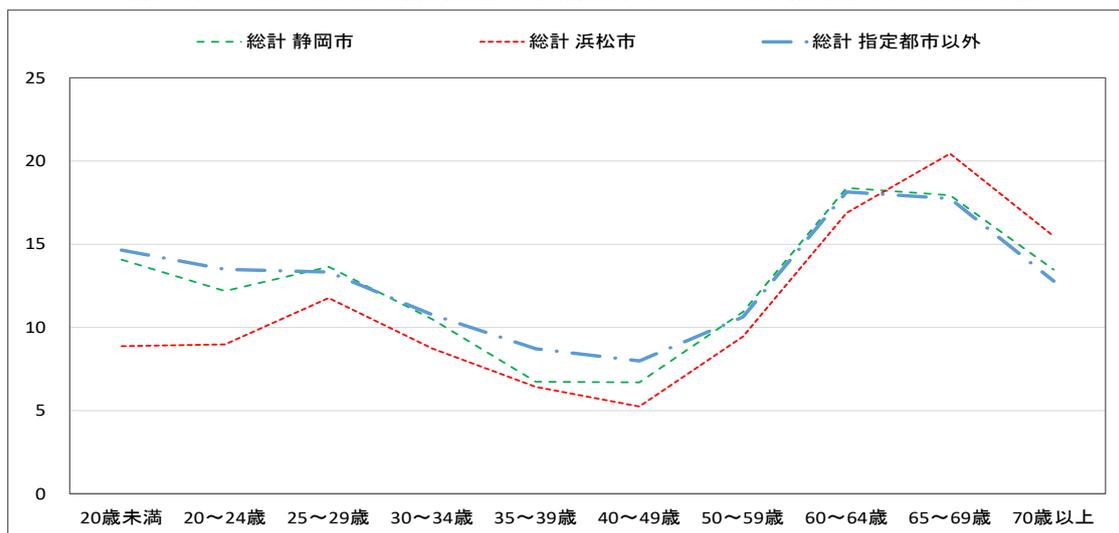
その下のグラフは、2つの政令指定都市（静岡市、浜松市）と、政令都市以外に分けて、年齢層別離職率を計算した結果である。

静共済加入法人の地域別年齢層別離職率(東部・中部・西部)(算式③)
平成22年度(2010年度)～平成26年度(2014年度)の5年間平均



東部・中部・西部の離職率は、全体としては大きな違いはない。年齢層別にみると、東部と中部は非常に近いラインを描いている。若年層ほど西部が離職率が低く、逆に65歳以上は西部が高い。興味深い結果である。

静共済加入者の地域別年齢層別離職率(静岡市・浜松市・政令指定都市以外)(算式③)

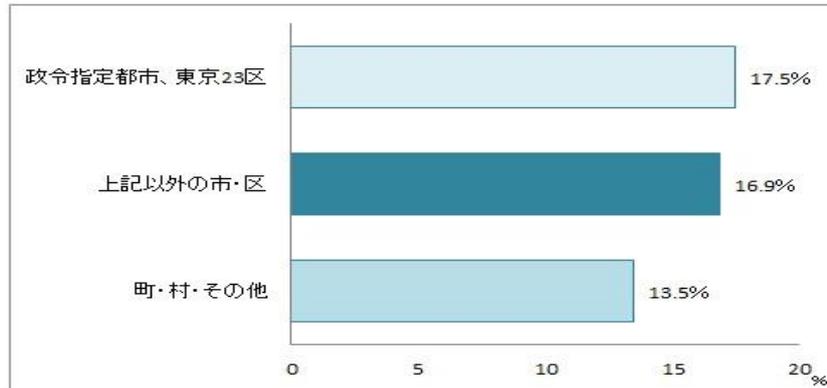


静岡市と政令指定都市以外は、年齢層別にみても非常に近いラインを描いている。浜松市は若年層ほど離職率が低く、逆に65歳以上が高い。上のグラフ(西部)が浜松市にほぼ相当しているので、同じような傾向が出ているものと思われる。

平成25年度の介護労働実態調査の結果(下のグラフ)からは、都市化が進んだ地域(人口密度が高い地域)の方が離職率が高く、逆に町村部(人口密度が低い地域)は離職率が低い傾向がみられる。都市部は介護施設も介護サービス利用者も多いので、そういう地域の方が離職率が高く、逆に介護施設も介護サービス利用者も少ない地域は離職率が低いとも読み取れる。

しかし、静共済のグラフは、そのような傾向を示しているとは言えない。

＜参考＞公益財団法人介護労働安定センターHP 平成24年度、25年度の介護労働実態調査より



11. 離職率区分によるシェア等

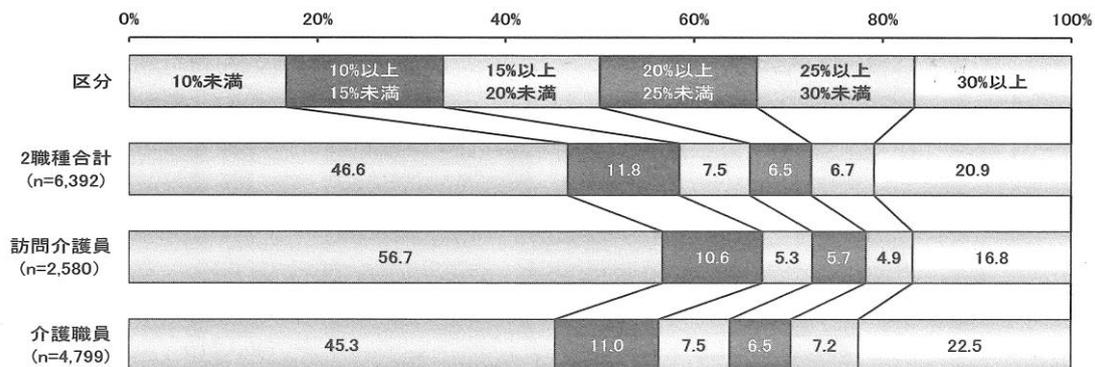
平成25年度の介護労働実態調査の結果から、離職率階級別に見た事業所の割合は次のとおりである。

この調査結果では、およそ半数近くの事業所の離職率は10%未満である。離職率が30%未満が約80%、逆に、離職率が30%を超える事業所は全体の20.9%であった。

介護事業の離職率の実態を知る上で役立つデータである。さて、離職率が低い事業所は常に低く、逆に離職率が高い事業所は、常に高いのだろうか？ そんな疑問、というか興味が湧いてくる。

＜参考＞公益財団法人介護労働安定センターHP 平成24年度、25年度の介護労働実態調査より

離職率階級別に見た事業所の割合（職種別）



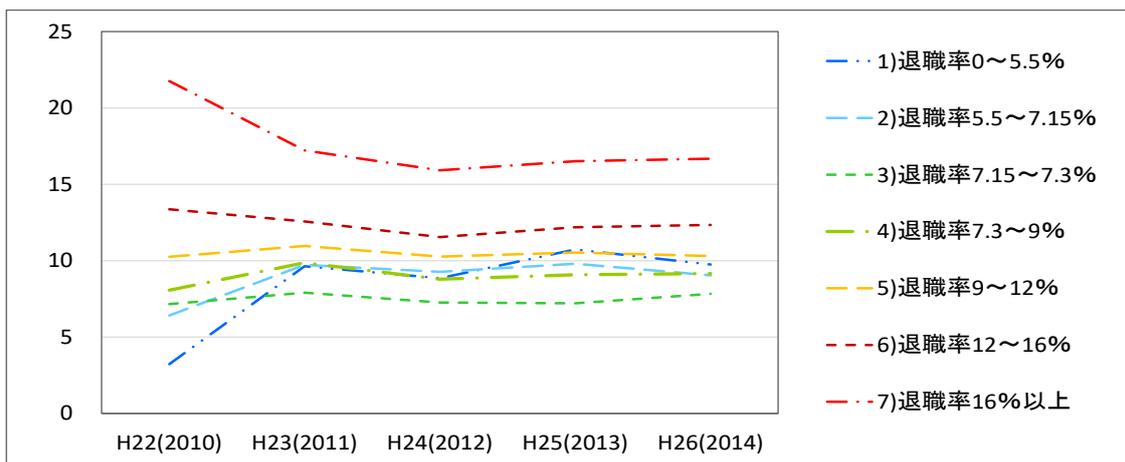
下のグラフは、離職率が低い事業所は常に低く、逆に離職率が高い事業所は、常に高いのか？ その疑問に対する答えを静共済加入者のデータを用いて調べた結果である。

平成22年度（2010年）の事業所別離職率で7区分し、その後4年間、7区分の事業所の離職率がどのように推移したのか調べた結果である。さて、この結果をどう読むべきか？

まず、離職率が16%を超えていた事業所は、その後の4年間も高い離職率が継続していた。「平均の1.5倍程度離職率が高い事業所は、その後5年程度の期間でみると、離職率が高い状態が継続する傾向がある」と言えるかもしれない。

他方、離職率が5%程度（平均の0.5倍）の事業所の離職率は、1年後には平均近くまで上昇し、4年後にはちょうど平均値まで達している。このことから、「離職率が低い事業所といえども、その後も低い状態をキープできる訳ではない。むしろそれは希なケースである」と言えるのではないだろうか。

静共済加入事業者の平成22年度(2010年)離職率区分によるその後4年の離職率推移(算式③)
平成22年度(2010年度)～平成26年度(2014年度)



本調査のデータから言えることでなく経験値からであるが、離職率の高低は組織風土の影響も受ける。しかし、風土だけでなく、当然ながら年齢構成の影響も受ける。たまたま定年等で離職者が増える年度もあるし、翌年は離職者が減ることもある。

また、離職理由は事業者要因だけではない。離職者本人の要因、あるいは離職者の家族が離職要因となることもある（例えば、出産、引っ越しなど）。長期継続して離職が少ない状態をキープすることは法人の努力だけで成しえることではなく、容易ではない。

人材を安定的に確保するためには、離職率を低く保つ努力だけでは無理であり、やはり採用力を高めること、新規に人材を確保する力を持つことが必要と考える。